

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>1.4.2.3 運転停止中の場合</p> <p>運転停止中とは、1次冷却材温度177℃以下及び1次冷却材圧力2.7MPa [gage]以下で余熱除去設備により原子炉を冷却している期間（すべての燃料が格納容器の外にある場合を除く。）とする。</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により余熱除去設備が使用できない場合において、1次冷却系が満水状態であれば、蒸気発生器2次側による炉心冷却に期待する。</p> <p>1次冷却系に開口部（加圧器逃がし弁、加圧器安全弁取外し中。）がある状態であれば、蒸散による炉心冷却に期待する。</p> <p>運転停止中におけるミッドループ運転中とは、燃料を取り出す前に1次冷却系を水抜きし、1次冷却材配管中心付近（ノズルセンター）まで低下させた状態をいう。</p> <p>なお、原子炉キャビティが高水位の状態においては、燃料取替用水ピットから原子炉へ注水する水量は限定されるが、原子炉キャビティに保有水があることから、早期に原子炉へ注水する必要はない。蒸散に伴う1次冷却系の保有水低下後は、格納容器再循環サンプに水位があることを確認し、低圧再循環運転又は高圧再循環運転を実施する。</p> <p>また、格納容器内への蒸散に伴い、格納容器内の環境が悪化することから、格納容器内の作業員を退避させる。これらの対応手順を以下に示す。</p> <p>(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 炉心注水</p> <p>(a) A、B 充てんポンプによる炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、充てんポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉に注水する手順を整備する。</p> <p>充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>また、ほう酸ポンプ、ほう酸タンク、1次系補給水ポンプ及び1次系純水タンクが健全であれば、代替水源として使用できる。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p>	<p>1.4.2.3 運転停止中の場合</p> <p>運転停止中とは、1次冷却材温度177℃未満、1次冷却材圧力2.7MPa [gage]以下で余熱除去設備により原子炉を冷却している期間（すべての燃料が格納容器の外にある場合を除く。）とする。</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により余熱除去設備が使用できない場合において、1次冷却系統が満水状態であれば、蒸気発生器2次側による炉心冷却に期待する。</p> <p>1次冷却系統に開口部（加圧器逃がし弁、加圧器安全弁取外し中）がある状態であれば、蒸散による炉心冷却に期待する。</p> <p>運転停止中におけるミッドループ運転中とは、燃料を取り出す前に1次冷却系を水抜きし、1次冷却材配管中心付近（ノズルセンター）まで低下させた状態をいう。</p> <p>なお、原子炉キャビティが高水位の状態においては、燃料取替用水ピットから原子炉へ注水する水量は限定されるが、原子炉キャビティに保有水があることから、早期に原子炉へ注水する必要はない。蒸散に伴う1次冷却系の保有水減少後は、格納容器再循環サンプに水位があることを確認し、高圧再循環運転又は代替再循環運転を実施する。</p> <p>また、格納容器内への蒸散に伴い、格納容器内の環境が悪化することから、格納容器内の作業員を退避させる。これらの対応手順を以下に示す。</p> <p>(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 炉心注水</p> <p>(a) 充てんポンプによる炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、充てんポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>また、ほう酸ポンプ、ほう酸タンク、1次系補給水ポンプ及び1次系純水タンクが健全であれば、代替水源として使用できる。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合において、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由①）</p> <p>設備の相違（差異理由①）</p> <p>設備の相違（差異理由①）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 運転停止中の充てんポンプによる炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.5図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に充てんポンプによる原子炉への注水を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で充てんポンプ水源を体積制御タンクから燃料取替用水ピットへ切り替え、原子炉への注水のための系統構成を実施する。</p> <p>③ 運転員等は、充てんポンプが運転していない場合は、中央制御室で充てんポンプを起動後、充てん流量制御弁を開操作し、充てんによる注水を行う。</p> <p>④ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度、充てん水流量等により原子炉の冷却及び充てんポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリードとする。</p> <p>iii. 操作の成立性 充てんポンプによる原子炉への注水は、中央制御室からの遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、高圧注入ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉に注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に充てんポンプの故障等により、原子炉への注水を充てん水流量等にて確認できない場合において、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p>	<p>ii. 操作手順 運転停止中の充てんポンプによる炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.5図、第1.4.24図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に充てんポンプによる原子炉への注水準備と系統構成を指示する。</p> <p>② 運転員は、中央制御室で充てんポンプによる原子炉への注水の系統構成を行う。</p> <p>③ 発電課長（当直）は、充てんポンプによる原子炉への注水が可能となれば、注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員は、中央制御室で充てんポンプを起動し、充てん流量制御弁を開操作し充てんポンプによる注水を行う。</p> <p>⑤ 運転員は、中央制御室にて1次冷却材温度や充てん水流量等により原子炉の冷却及び充てんポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、高圧注入ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉に注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 充てんポンプの故障等により、原子炉への注水を充てん水流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>記載方針の相違 ・泊3号炉は、多様性拡張設備であるほう酸タンク及び1次系純水タンクを水源として使用する場合の概略系統を第1.4.24図に整理している。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 運転停止中の高圧注入ポンプによる炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.17図に示す。 ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる炉心注水を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる炉心注水のための系統構成を実施する。 ③ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し炉心注水を行う。 ④ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度、高圧注入流量等により原子炉の冷却及び高圧注入ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリードとする。</p> <p>iii. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる炉心注水は、中央制御室での遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 蓄圧タンクによる炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蓄圧タンク水を原子炉に注水する手順を整備する。 蓄圧タンクによる炉心注水についてはタンク内圧力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 燃料取替用水ピットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 運転停止中の蓄圧タンクによる炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.38図、タイムチャートを第1.4.39図に示す。 ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に蓄圧タンクによる炉心注水を指示する。 ② 運転員等は、現場で蓄圧タンク出口弁の電源を入とする。 ③ 運転員等は、中央制御室で蓄圧タンク出口弁を1台ずつ開操作し、蓄圧タンクによる注水を行う。 ④ 運転員等は、中央制御室で蓄圧タンク水位低下及び1</p>	<p>ii. 操作手順 運転停止中の高圧注入ポンプによる炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.45図に示す。 ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に高圧注入ポンプによる原子炉への注水を指示する。 ② 運転員は、中央制御室にて高圧注入ポンプによる炉心注水の系統構成を行う。 ③ 運転員は、中央制御室にて高圧注入ポンプを起動し、原子炉への注水を開始し、高圧注入流量等により原子炉への注水が確保されたことを確認する。 ④ 運転員は、中央制御室にて1次冷却材温度や高圧注入流量等により原子炉の冷却及び高圧注入ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作により対応する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>次冷却系の水位上昇により注水状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態を維持するために継続的に原子炉への注水ができる手段を確保する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約15分と想定する。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p>b. 代替炉心注水 (a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 運転停止中のミッドループ運転中において、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。 (添付資料 1.4.19)</p> <p>i. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの故障等により、原子炉への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 運転停止中の燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.40図に示す。 ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水準備を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。 ③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。 ④ 運転員等は、中央制御室で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を開操作し、余熱除去冷却器バイパス流量制御弁の開度を調整することで、燃料取</p>	<p>b. 代替炉心注水 (a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 運転停止中のミッドループ運転中において、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 なお、燃料取替用水ピットの重力注水は燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。 (添付資料 1.4.20)</p> <p>i. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの故障等により、原子炉への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 運転停止中の燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への代替炉心注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.46図に示す。 ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水準備を指示する。 ② 運転員は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉止状態を確認する。 ③ 発電課長（当直）は、原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。 ④ 運転員は、中央制御室で余熱除去ポンプRWS側入口弁、余熱除去ラインC/V外側隔離弁及び余熱除去冷却器出口流量調節弁を開とし、燃料取替用水ピットから</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で余熱除去流量、燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却系の保有水量、1次冷却材温度、余熱除去流量等により原子炉の冷却状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態を維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリードとする。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施する。</p> <p>(b) A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、A格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 蓄圧タンクによる原子炉への注水を蓄圧タンク圧力等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b.(a)と同様。</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p>	<p>の重力注水による原子炉注水を開始する。注水開始後、中央制御室で低圧注入流量、燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統ループ水位及び加圧器水位により原子炉への注水が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員は、中央制御室にて1次系保有水量、1次冷却材温度、低圧注入流量等により原子炉の冷却状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態を維持するために継続的に原子炉への注水ができる手段を確保する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名で実施する。操作については、中央制御室で通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) B-格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの故障等により、原子炉への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b.(a) ii.と同様。</p> <p>(c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉に注水する手順を整備する。 代替格納容器スプレイポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、補助給水ピットを使用する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>運用の相違（差異理由⑤） ・泊3号炉は燃料取替用水ピットによる重力注水と並行してB-格納容器スプレイポンプ(RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水を行う。</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由⑥） 運用の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>i. 手順着手の判断基準 A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等で確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (b)と同様。</p> <p>(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりN o. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準 B格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b. (b) ii. と同様。</p> <p>(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p>		<p>設備の相違（差異理由④）</p>
<p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なN o. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (c)と同様。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b. (c) ii. と同様。</p>		<p>設備の相違（差異理由⑤）</p>
<p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 恒設代替低圧注水ポンプの故障等により原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (d)と同様。</p>	<p>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) b. (d) ii. と同様。</p>		<p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>格納容器圧力及び温度が上昇した場合は、格納容器スプレィポンプを用いた格納容器スプレィ又は格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却による格納容器冷却に期待する。</p>	<p>(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合に、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1) b. (e) ii. と同様。</p> <p>(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>代替格納容器スプレィポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1) b. (f) ii. と同様。</p> <p>c. 再循環運転</p> <p>(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</p> <p>運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、高圧注入ポンプにより格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内の冷却を行う手順を整備する。また、格納容器内自然対流冷却を使用できない場合は、格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ再循環運転を行い格納容器内の冷却を行う手順を整備する。</p>		<p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>・いずれの記載も高圧注入ポンプによる再循環運転時において、格納容器内の冷却を格納容器スプレィポンプによる再循環運転又は格納容器内自然冷却にて実施することに相違なし。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.14図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。 ③ 当直課長は、運転員等に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を指示する。 ④ 運転員等は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量で確認する。 ⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度等の指示により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転は、中央制御室で可能である。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用ピット水等を原子炉へ注水後、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環による原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.19図に示す。 C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2) a. 「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉への注水準備と系統構成を指示する。 ② 運転員は、中央制御室で高圧注入ポンプによる高圧再循環運転の系統構成を実施する。 ③ 発電課長（当直）は、運転員に高圧注入ポンプによる高圧再循環運転による原子炉の冷却が可能となれば、開始を指示する。 ④ 運転員は、中央制御室で高圧注入ポンプを起動し、原子炉へ注水されていることを高圧注入流量等で確認する。 ⑤ 運転員は、中央制御室で1次冷却材温度等により、原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名で実施する。 操作については、中央制御室で通常の運転操作により対応する。</p> <p>d. 代替再循環運転 (a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転 運転停止中に、余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用ピット水等を原子炉へ注水後、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉へ注水する手順を整備する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・泊3号炉は、格納容器自然対流冷却の手順リンク先を記載している。 ・大飯3/4号炉も格納容器自然対流冷却の手順を技術的能力1.7で整備していることに相違なし。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)d. (a)と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に高圧注入ポンプの故障等により、原子炉への注水を高圧注入流量等にて確認できない場合に、代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1) d. (a) ii. と同様。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器への注水に必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概略システムを第1.4.40図に示す。</p> <p>(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備である電動主給水ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水が補助給水流量等で確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり、蒸気発生器へ注水するために必要な脱気器タンク水位が確保されている場合。</p>		<p>運用の相違（差異理由②）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略システムを整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水は、中央制御室での遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を蒸気発生器水張り流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p>	<p>ii. 操作手順 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概略系統を第1.4.41図に示す。</p> <p>(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高圧ポンプにより蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動主給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を主給水ライン流量等で確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合。</p>	<p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違（差異理由⑤）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は準備に時間を要することから、補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水ができない場合に準備を開始する。</p>	

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p>ii. 操作手順 操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する手順を整備する。 蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合に、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水 運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する手順を整備する。 蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプの故障等により、蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p>		<p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器真空度が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p>	<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、中央制御室にて主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側により炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が確保されたことを補助給水流量等により確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>主蒸気逃がし弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概略システムを第1.4.40図に示す。</p> <p>(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</p> <p>運転停止中に余熱除去設備である余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるタービンバイパス弁を中央制御室にて開操作し、蒸気発生器から蒸気放出を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>主蒸気逃がし弁による蒸気放出が主蒸気ライン圧力等にて確認できない場合に、外部電源により常用母線が受電され、2次冷却系の設備が運転中であり復水器の真空が維持されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>タービンバイパス弁の開操作は、中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する。概略システムを第1.4.42図に示す。</p> <p>g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p>		<p>記載方針の相違</p> <p>・大飯3/4号炉も第1.4.35図に当該手段の概略システムを整理している。</p> <p>記載方針の相違（差異理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>蒸気発生器2次側フィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウニングタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウニングラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p>	<p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウニングラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の対応手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p>	<p>設備の相違（差異理由②）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違 ・大阪 3/4 号炉は個別手順のリンク先を記載しているが、泊 3 号炉は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>記載方針の相違 ・泊 3 号炉は補助給水ピットへの供給に手順等のリンク先を記載している。</p> <p>設備の相違（差異理由②）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>i. 優先順位</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気発生器への注水は、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプ又は復水ピットを水源とした蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）は使用準備に時間を要することから電動主給水ポンプを優先して使用する。</p> <p>蒸気放出については、主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>	<p>可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給に関する手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.8「可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>i. 優先順位</p> <p>運転停止中に余熱除去ポンプの故障等により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に崩壊熱除去機能が喪失した場合は、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。</p> <p>格納容器隔離弁閉止後に、1次冷却系統に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却として、蒸気放出は主蒸気逃がし弁を用い、主蒸気逃がし弁が使用できない場合は、タービンバイパス弁を使用する。蒸気発生器への注水については、電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプを用い、これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、操作の容易性から脱気器タンクを水源とした電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。電動主給水ポンプが使用できない場合は補助給水ピットを水源としたSG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、電動補助給水ポンプ及びタービン動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p>		<p>設備の相違（差異理由③） 記載方針の相違（差異理由⑥）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由④） ・泊3号炉は、補助給水ポンプの代替手段のうち、常設設備は電動主給水ポンプとSG直接給水用高圧ポンプがあり、中央制御室からの操作で注水可能な電動主給水ポンプを優先する。</p> <p>設備の相違（差異理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、中央制御室で操作可能であり早期に運転が可能で充てんポンプ、その次に準備時間の短い高圧注入ポンプによる原子炉への注水を行う。充てんポンプ及び高圧注入ポンプが使用できない場合は、燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピットからの重力注水ができない場合は、蓄圧タンクによる炉心注水を行う。</p> <p>上記により原子炉への注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行い、それができない場合は、恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と恒設代替低圧注水ポンプの優先順位は、準備時間が短いA格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火ポンプにより代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。</p> <p>消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による冷却を行う。まず、充てんポンプによる炉心注水を行う。充てんポンプが使用できない場合は、高圧注入ポンプによる炉心注水を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、中央制御室のみで実施可能である燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水を行うとともに、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。それができない場合は、代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水を行う。</p> <p>なお、B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）と代替格納容器スプレイポンプの優先順位は、準備時間が短いB-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）を優先する。これらの手段が使用できない場合は、消火設備による原子炉への注水を行う。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>消火設備による代替炉心注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による炉心注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉も充てんポンプによる炉心注水は中央制御室から操作可能。 <p>設備の相違（差異理由⑨） 運用の相違（差異理由④）</p> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火設備は消火活動に優先して使用する手順に相違なし。 <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>高圧注入ポンプによる高圧再循環運転だけでも十分な冷却効果はあるが、余熱除去ポンプによる冷却効果を補うため、あわせてA格納容器スプレイポンプ（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替再循環運転により原子炉を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.41 図に示す。</p>	<p>炉心注水又は代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、高圧注入ポンプを用いた高圧再循環運転により原子炉への注水操作を行う。高圧注入ポンプが使用できない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-C S S連絡ライン使用）及びB-格納容器スプレイ冷却器を用いた代替再循環運転により原子炉への注水操作を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.47 図に示す。</p>		<p>記載表現の相違 運用の相違（差異理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合には、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.19)</p>	<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>運転停止中のミッドループ運転期間中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合の代替炉心注水手段については、代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の他、蓄圧タンクによる炉心注水（その後続く代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水）が考えられるが、作業者の安全に配慮する必要があることから、蓄圧タンクによる代替炉心注水は実施しない。</p> <p>(添付資料 1.4.21)</p> <p>a. 代替炉心注水</p> <p>(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>代替格納容器スプレイポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、補助給水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能が喪失し、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1) b. (b) ii. と同様。</p> <p>(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</p> <p>運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、燃料取替用水ピットからの重力注水により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、燃料取替用水ピットの水頭圧を利用するため、燃料取替用水ピットの水位が低下した場合は、重力注水を停止する。</p> <p>(添付資料 1.4.20)</p>		<p>差異理由</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水の次に燃料取替用水ピットの水頭圧を利用し、これに並行して、B-充てんポンプ(自己冷却)による注水準備も開始する。 <p>運用の相違（差異理由⑤）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピットの水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 燃料取替用水ピットからの重力注水の原子炉への注水手順の概要は以下のとおり。概略系統を第1.4.40図に、タイムチャートを第1.4.42図に示す。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水の準備を指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室で燃料取替用水ピットからの重力注水に必要な系統構成と他の系統と連絡する弁の閉を確認する。</p> <p>③ 当直課長は、運転員等に原子炉への注水が可能となれば、原子炉への注水開始を指示する。</p> <p>④ 運転員等は、現場で余熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプ側入口弁を手動で開操作し、燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉への注水を開始する。注水開始後、中央制御室で燃料取替用水ピット水位、1次冷却系統水位^{*10}及び加圧器水位により、原子炉への注水が確保されたことを確認する。</p> <p>⑤ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度により、原子炉が継続して冷却状態であることを確認する。 ※10：全交流動力電源が喪失した場合は、常用系の蓄電池により約30分の監視が可能。また、空冷式非常用発電装置により電源喪失から30分後には電源が回復するため、30分以降も継続監視が可能である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名により作業を実施し、所要時間は約25分と想定する。 円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料1.4.20)</p> <p>(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水 運転停止中のミッドループ運転中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備である余熱除去ポンプの機能喪失により崩壊熱除去機</p>	<p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中のミッドループ運転中において、代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.3(1) b. (a) ii. と同様。</p>		<p>運用の相違（差異理由⑤）</p> <p>運用の相違（差異理由⑥） ・大阪3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、代替非常用発電機からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。</p> <p>設備の相違（差異理由⑦）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>能が喪失した場合、蓄圧タンクにより原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>蓄圧タンクによる代替炉心注水についてはタンク内圧力を利用するため蓄圧タンク水位が低下して圧力が下がった場合には、原子炉への注水を停止する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 燃料取替用水ピットの重力注水により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な蓄圧タンク水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.3(1)a.(c)と同様。 (添付資料 1.4.21)</p> <p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、恒設代替低圧注水ポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 恒設代替低圧注水ポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</p> <p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p>	<p>【比較のため再掲 (1.4.2.3 (2) a.(a)より)】</p> <p>(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。 代替格納容器スプレイポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、補助給水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能が喪失し、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b.(b)ii.と同様。</p>		<p>運用の相違（差異理由⑤）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(b)と同様。</p> <p>(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>B充てんポンプの水源として燃料取替用水ピットが使用できない場合は、復水ピットを使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源が喪失時、恒設代替低圧注水ポンプの故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時は、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）の機能喪失により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット等の水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(c)と同様。</p> <p>(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失時、B充てんポンプ（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を充てん流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2)a.(d)と同様。</p>	<p>(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-充てんポンプ（自己冷却）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に代替格納容器スプレイポンプの故障等により、原子炉への注水を代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2) a.(b)ii.と同様。</p> <p>(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）により燃料取替用水ピット水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中にB-充てんポンプ（自己冷却）の故障等により原子炉への注水を充てん流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要な燃料取替用水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(2) a.(c)ii.と同様。</p>		<p>設備の相違（差異理由①）</p> <p>記載表現の相違 設備の相違（差異理由②）</p> <p>設備の相違（差異理由①）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル消火ポンプによりNo. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 また、運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによりNo. 2淡水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なNo. 2淡水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (c)と同様。</p> <p>(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (d)と同様。</p>	<p>(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、常用設備であるディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 また、運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合、常用設備である電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を原子炉へ注水する手順を整備する。 使用には、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により原子炉への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合に、原子炉へ注水するために必要なろ過水タンク水位が確保されており、かつ重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がなく、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (c)ii. と同様。</p> <p>(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水をB格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.1(1)b. (d)ii. と同様。</p> <p>(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから原子炉へ注水する手順を整備する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p>	<p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS－CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水をB－格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1) b. (e) ii. と同様。</p> <p>(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から原子炉へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B－格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS－CSS連絡ライン使用）の故障等により、原子炉への注水をB－格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.4.2.1(1) b. (f) ii. と同様。</p> <p>b. 代替再循環運転</p> <p>(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</p> <p>i. A－高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A－高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D－格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプ水位が確保されている場合。</p>		<p>設備の相違（差異理由③）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(ii) 操作手順 1.4.2.1(2)b.(a) i. と同様。</p> <p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合 i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転 運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、A余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合、空調用冷水系が運転中で、低圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順 1.4.2.1(2)b.(b) i. と同様。</p> <p>ii. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 運転停止中において、再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失時の対応であるA余熱除去ポンプ（空調用冷水）低圧代替再循環運転による炉心への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、大容量ポンプにより代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再</p>	<p>(ii) 操作手順 1.4.2.1 (2) b. (a) i. (ii)と同様。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水操作は、「1.5最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</p> <p>(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失事象が発生した場合</p> <p>i. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転 運転停止中において、原子炉補機冷却機能が喪失し余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、A-高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内を冷却する手順を整備する。</p> <p>(i) 手順着手の判断基準 運転停止中に原子炉補機冷却機能喪失を原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認した場合に、可搬型大型送水ポンプ車により代替補機冷却による冷却水が確保され、高圧代替再循環運転をするために必要な格納容器再</p>		<p>記載方針の相違 ・泊3号炉は、他の審査項目で整備する代替補機冷却水（海水）の通水手順のリンク先を記載している。</p> <p>記載表現の相違 設備の相違（差異理由⑧）</p> <p>記載表現の相違 設備の相違（差異理由⑧）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>(ii) 操作手順 1.4.2.1(2)b.(a) i. と同様。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより復水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、1次冷却系に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.2(1)a.(a) と同様。</p>	<p>(ii) 操作手順 1.4.2.1 (2) b. (a) i. (ii) と同様。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a.「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高压注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</p> <p>c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） (a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、1次冷却系統に開口部がなく、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順 1.4.2.2(1) a. (a) ii. と同様。</p> <p>(b) SG直接給水用高压ポンプによる蒸気発生器への注水 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、SG直接給水用高压ポンプにより補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。 淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な補助給水ピット水位が確保されている場合。</p>		<p>記載方針の相違 ・泊3号炉は、他の審査項目で整備する代替補機冷却水（海水）の通水手順のリンク先を記載している。</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）により蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>なお、淡水又は海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確認できない場合に、蒸気発生器へ注水するために必要な復水ピット水位が確保されている場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p>	<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合に、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p>		<p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p>	<p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等により確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>操作手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p>		<p>設備の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード 運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを經由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射線物質濃度等を確認し排出する。 なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i) 「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1) 「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3) 「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9) 「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p>	<p>ii. 操作手順 操作手順は、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード 運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを經由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。 海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順 操作手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) 「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順 代替非常用発電機の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1) 「代替非常用発電機による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4 「代替非常用発電機等への燃料補給の手順」にて整備する。 補助給水ピット、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の対応手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.1 「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び補助給水ピットへの供給に係る手順等」、1.13.2.2 「炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p>		<p>設備の相違（差異理由②）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違（差異理由⑦）</p> <p>記載方針の相違 ・泊3号炉は、補助給水ピットへの供給に係る手順のリンク先も記載している。 ・大飯3/4号炉は個別手順のリンク先を記載しているが、泊3号炉は補助給水ピット及び燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p>	<p>可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給に関する手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.8「可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却手順については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2 (1) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D—格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、代替非常用発電機からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離閉止後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却操作を優先する。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。代替非常用発電機からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ビットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p>		<p>設備の相違（差異理由③） 記載方針の相違（差異理由④）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉</p>	<p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水により原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火設備による代替炉心注水を行う。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。消火設備による代替炉心注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ代替炉心注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による炉心注水のための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水の手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-C S S連絡ライン使用）による代替炉</p>	<p>運用の相違（差異理由⑤）</p> <p>設備の相違（差異理由⑥）</p> <p>記載表現の相違 ・消火設備は消火活動に優先して使用する手順に相違なし。 設備の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由⑦） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>設備の相違（差異理由⑧） 記載表現の相違</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B 高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B 高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>	<p>心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切替えて、A-高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ送水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.48 図に示す。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由⑧）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。 (添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順 格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退城を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。</p> <p>④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認する。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p>	<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等 運転停止中において、全交流動力電源喪失等により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却材の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。 (添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失等により余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順 格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。</p> <p>② 運転員は、中央制御室にて格納容器内退避警報若しくは所内通話設備により格納容器内の作業員へ退避を指示する。</p> <p>③ 格納容器出入管理員は、格納容器入口付近のC/V入城退出管理簿を確認し、全作業員の退城を確認する。</p>		<p>記載表現の相違</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規定にて定める格納容器入城退出管理簿により入退城を管理。 ・大飯3/4号炉と入退城の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違なし。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.4.22)</p> <p>1.4.2.4 復旧に係る手順等 全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>	<p>④ 格納容器出入管理員は、現場にて格納容器エアロックを閉止する。 ⑤ 運転員は、現場にて格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名、現場は運転員1名及び格納容器出入管理員1名により作業を実施し、所要時間は約40分と想定する。 円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 (添付資料 1.4.22)</p> <p>1.4.2.4 復旧に係る手順等 全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準事故対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。 代替非常用発電機の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替非常用発電機による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「代替非常用発電機等への燃料補給の手順等」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の対応手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「炉心注水のための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。 余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.に示す「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で対応する。</p>		<p>記載方針の相違（差異理由⑦） 記載方針の相違 ・大阪 3/4 号炉は個別手順のリンク先を記載しているが、泊 3 号炉は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>記載表現の相違 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉			泊発電所3号炉			女川発電所2号炉			差異理由																																																																																																																																																			
1次冷却材喪失事象が発生している場合	第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプ又は燃料冷却器用ポンプ</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td>A. 高圧注入ポンプ*</td> <td>高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ</td> <td>高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料冷却器用ポンプ</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料冷却器用ポンプ</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類	余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプ又は燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 高圧注入ポンプ*	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	<p>第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">余熱除去ポンプ</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td>A. 高圧注入ポンプ*</td> <td>高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ</td> <td>高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">燃料冷却器用ポンプ</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (a)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td rowspan="5">代替冷却材ポンプ (b)</td> <td>A. 燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ</td> </tr> <tr> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> <td>燃料冷却器用ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧ポンプ</td> <td>高圧ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水ポンプ*</td> <td>1次系冷却水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>1次系冷却水タンク</td> <td>1次系冷却水タンク</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類	余熱除去ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 高圧注入ポンプ*	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ	高圧ポンプ	高圧ポンプ	1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ	1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク		
	分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類																																																																																																																																																						
余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプ又は燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 高圧注入ポンプ*	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																						
				燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
				高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																							
燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																						
				燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
				高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																							
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順の分類																																																																																																																																																							
余熱除去ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 高圧注入ポンプ*	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ	高圧注入ポンプを用いた燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																						
				燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
				高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																							
燃料冷却器用ポンプ	代替冷却材ポンプ (a)	代替冷却材ポンプ (a)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																							
			燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																								
			高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																								
			1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																								
	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	代替冷却材ポンプ (b)	A. 燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ	燃料冷却器用ポンプを用いた代替冷却材ポンプ																																																																																																																																																						
				燃料冷却器用ポンプ	燃料冷却器用ポンプ																																																																																																																																																							
				高圧ポンプ	高圧ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水ポンプ*	1次系冷却水ポンプ																																																																																																																																																							
				1次系冷却水タンク	1次系冷却水タンク																																																																																																																																																							

*1：1次冷却材ポンプ 重大事故等発生時に用いる前中停機時の緊急冷却のための活動に関する事項
 *2：手順は「11.2 重大事故時の対応(炉心冷却)」にて整備する。
 *3：手順は「11.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：可搬式燃料冷却器ポンプにより炉心注水する場合に発生する手順は例外とする。
 *5：可搬式燃料冷却器ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *6：可搬式燃料冷却器ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.6 燃料冷却器の冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
 *7：高圧ポンプの燃料ポンプに使用される。手順は「11.6 燃料冷却器の冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
 *8：タービン発電機より取り出す。
 *9：A. 燃料冷却器用ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.7 炉心注水ポンプの運転再開を防止するための手順等」にて整備する。
 *10：1次冷却材ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.7 炉心注水ポンプの運転再開を防止するための手順等」にて整備する。
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：87条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

*1：手順は「11.11 重大事故時の対応(炉心冷却)」にて整備する。
 *2：タービン発電機より取り出す。
 *3：可搬式燃料冷却器ポンプにより炉心注水する場合に発生する手順は例外とする。
 *4：可搬式燃料冷却器ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *5：可搬式燃料冷却器ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *6：可搬式燃料冷却器ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.6 燃料冷却器の冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
 *7：高圧ポンプの燃料ポンプに使用される。手順は「11.6 燃料冷却器の冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
 *8：タービン発電機より取り出す。
 *9：A. 燃料冷却器用ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.7 炉心注水ポンプの運転再開を防止するための手順等」にて整備する。
 *10：1次冷却材ポンプが燃料冷却器に使用される。手順は「11.7 炉心注水ポンプの運転再開を防止するための手順等」にて整備する。
 a：当該表に適合する重大事故等対処設備 b：17条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順
(溶融デブリが原子炉容器内に残存する場合)

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手続書, 手順の分類. Contains detailed safety procedures for Fukushima Daiichi 3/4 reactors.

第1.4.3表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順

(溶融デブリが原子炉容器内に残存する場合)

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手続書, 手順の分類. Contains detailed safety procedures for Fukushima Daiichi 3 reactor.

- *1: ドライバーセル発電機等により設置する。
*2: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する。
*3: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する。
*4: C、D-燃料容器用注水ポンプで燃料容器注水を行う。
*5: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する。
*6: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する。
*7: ドライバーセル発電機等により電力を供給する。
*8: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する。

注1: 「大阪発電所」は「重水炉等緊急停止装置」原子炉冷却材の圧力低下を抑制するための設備に関する規定。
注2: ドライバーセル発電機等により設置する。
注3: 手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
注4: 可搬型大型注水ポンプ車により電力を供給する場合は海水を使用する。
注5: 可搬型大型注水ポンプ車による注水は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
注6: 可搬型大型注水ポンプ車による注水は「1.6 原子炉冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
注7: 注水時の燃料供給に使用する設備用のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材の供給に関する手順等」にて整備する。
注8: A、D燃料容器用注水ポンプで燃料容器注水を行う。手順は「1.7 原子炉冷却材供給用注水設備を整備するための手順等」にて整備する。
注9: 重大事故対策等において用いる設備の分類。
注10: 当該本文に適合する重大事故等対処設備。b: 併用して適合する重大事故等対処設備。c: 自主的対策として整備する重大事故等対処設備。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1 / 2）

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1 / 2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設置する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付蒸発器	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動冷却材ポンプ ^{a)}	a)	冷却材ポンプの故障による冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			タービン駆動冷却材ポンプ		
			後水ピット		
			蒸気発生器	b)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			電動冷却材ポンプ		
			蒸気発生器	c)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
			蒸気発生器	d)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
			蒸気発生器	e)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
蒸気発生器	f)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書			
蒸気発生器					
蒸気発生器	g)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書			
蒸気発生器					

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設置する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付蒸発器	運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合	電動冷却材ポンプ ^{a)}	a)	冷却材ポンプの故障による冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			タービン駆動冷却材ポンプ		
			後水ピット		
			蒸気発生器	b)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			電動冷却材ポンプ		
			蒸気発生器	c)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
			蒸気発生器	d)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
			蒸気発生器	e)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書
			蒸気発生器		
蒸気発生器	f)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書			
蒸気発生器					
蒸気発生器	g)	蒸気発生器と冷却材ポンプによる冷却材喪失事象発生時の対応する運転手順書			
蒸気発生器					

注1：「大規模電源」重大事故発生時に30分間の燃料供給の確保のための活動に関する計画
 注2：「タービン駆動設備等」により給電する。
 注3：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注4：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注5：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注6：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注7：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。

注1：「大規模電源」重大事故発生時に30分間の燃料供給の確保のための活動に関する計画
 注2：「タービン駆動設備等」により給電する。
 注3：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注4：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注5：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注6：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。
 注7：「本機」は「1.5 燃料リトリントク」を指す。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉							泊発電所3号炉							女川発電所2号炉							差異理由																																																																																																									
<p>第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手順</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> <td rowspan="10">全交線動力電源*</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>a</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側による炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="10">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>空冷式許容用発電機²⁾</td> <td>a,b</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>a,b</td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>燃料油貯蔵タンク³⁾</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>重湯タンク⁴⁾</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>ダクトローラー⁵⁾</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補給用貯留タンク(貯留)⁶⁾</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>復水ピット</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下</td> <td rowspan="2">蒸気発生器が止まる(復水自動作動)⁷⁾</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">主蒸気送りが止まる</td> <td>a,b</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止</td> <td rowspan="2">ポンプ⁸⁾</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順</td> <td>a</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水喪失</td> <td rowspan="2">送水車</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">送水車による蒸気発生器への注水の手順</td> <td>a</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> </tbody> </table>							分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手順	対応設備	整備する手順	手順の分類	1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交線動力電源*	蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	SA作動 ¹⁾	空冷式許容用発電機 ²⁾	a,b	タービン駆動補助給水ポンプ	a,b	復水ピット	a	蒸気発生器	a	燃料油貯蔵タンク ³⁾	a	重湯タンク ⁴⁾	a	ダクトローラー ⁵⁾	a	蒸気発生器補給用貯留タンク(貯留) ⁶⁾	a	復水ピット	a	炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下	蒸気発生器が止まる(復水自動作動) ⁷⁾	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	主蒸気送りが止まる	a,b	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止	ポンプ ⁸⁾	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順	a	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	冷却水喪失	送水車	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	送水車による蒸気発生器への注水の手順	a	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	<p>第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機能喪失を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手順</th> <th>対応設備</th> <th>整備する手順</th> <th>手順の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> <td rowspan="10">全交線動力電源*1</td> <td rowspan="10">蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>a</td> <td rowspan="10">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="10">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>代替許容用発電機*1</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>a, b</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料送給設備*6</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>可搬型ダクトローラー*6</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機燃料送給ポンプ*6</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>SC送給用大湯減圧ポンプ*2</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>可搬型大湯減水ポンプ*2</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下</td> <td rowspan="2">蒸気発生器が止まる(復水自動作動)*7</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">主蒸気送りが止まる(復水自動作動)*8</td> <td>a, b</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止</td> <td rowspan="2">ポンプ*8</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順</td> <td>a</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水喪失</td> <td rowspan="2">送水車</td> <td rowspan="2">炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警</td> <td rowspan="2">送水車による蒸気発生器への注水の手順</td> <td>a</td> <td rowspan="2">SA作動¹⁾</td> </tr> <tr> <td>多様な性能に留意する</td> </tr> </tbody> </table>							分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手順	対応設備	整備する手順	手順の分類	1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交線動力電源*1	蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下	電動補助給水ポンプ	a	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	SA作動 ¹⁾	代替許容用発電機*1	a, b	タービン駆動補助給水ポンプ	a, b	補助給水ピット	a	蒸気発生器	a	ディーゼル発電機燃料送給設備*6	a	可搬型ダクトローラー*6	a	ディーゼル発電機燃料送給ポンプ*6	a	SC送給用大湯減圧ポンプ*2	a	補助給水ピット	a	可搬型大湯減水ポンプ*2	a	炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下	蒸気発生器が止まる(復水自動作動)*7	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	主蒸気送りが止まる(復水自動作動)*8	a, b	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止	ポンプ*8	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順	a	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	冷却水喪失	送水車	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	送水車による蒸気発生器への注水の手順	a	SA作動 ¹⁾	多様な性能に留意する	<p>注1：本報警は「1.14 蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。 注2：本報警は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 注3：本報警は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。 注4：本報警は「1.5 燃料油貯蔵タンクへの燃料供給停止」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。 注5：本報警は「1.6 燃料油貯蔵タンクへの燃料供給停止」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。 注6：本報警は「1.7 燃料油貯蔵タンクへの燃料供給停止」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。 注7：本報警は「1.8 燃料油貯蔵タンクへの燃料供給停止」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。 注8：本報警は「1.9 燃料油貯蔵タンクへの燃料供給停止」の発生を抑制するための手順等」にて整備する。</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手順	対応設備	整備する手順	手順の分類																																																																																																																									
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交線動力電源*	蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	SA作動 ¹⁾																																																																																																																								
			空冷式許容用発電機 ²⁾	a,b																																																																																																																										
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b																																																																																																																										
			復水ピット	a																																																																																																																										
			蒸気発生器	a																																																																																																																										
			燃料油貯蔵タンク ³⁾	a																																																																																																																										
			重湯タンク ⁴⁾	a																																																																																																																										
			ダクトローラー ⁵⁾	a																																																																																																																										
			蒸気発生器補給用貯留タンク(貯留) ⁶⁾	a																																																																																																																										
			復水ピット	a																																																																																																																										
炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下	蒸気発生器が止まる(復水自動作動) ⁷⁾	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	主蒸気送りが止まる	a,b	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										
燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止	ポンプ ⁸⁾	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順	a	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										
冷却水喪失	送水車	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	送水車による蒸気発生器への注水の手順	a	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手順	対応設備	整備する手順	手順の分類																																																																																																																									
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交線動力電源*1	蒸気発生器2次側による原子炉冷却材圧力低下	電動補助給水ポンプ	a	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	SA作動 ¹⁾																																																																																																																								
			代替許容用発電機*1	a, b																																																																																																																										
			タービン駆動補助給水ポンプ	a, b																																																																																																																										
			補助給水ピット	a																																																																																																																										
			蒸気発生器	a																																																																																																																										
			ディーゼル発電機燃料送給設備*6	a																																																																																																																										
			可搬型ダクトローラー*6	a																																																																																																																										
			ディーゼル発電機燃料送給ポンプ*6	a																																																																																																																										
			SC送給用大湯減圧ポンプ*2	a																																																																																																																										
			補助給水ピット	a																																																																																																																										
可搬型大湯減水ポンプ*2	a																																																																																																																													
炉心冷却材圧力低下による原子炉冷却材圧力低下	蒸気発生器が止まる(復水自動作動)*7	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	主蒸気送りが止まる(復水自動作動)*8	a, b	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										
燃料油貯蔵タンクからの燃料供給停止	ポンプ*8	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	ポンプを用いた蒸気発生器2次側のフュードアップフリードリにより原子炉を冷却する手順	a	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										
冷却水喪失	送水車	炉心の過熱及び格納容器破損を防止する運転中報警	送水車による蒸気発生器への注水の手順	a	SA作動 ¹⁾																																																																																																																									
				多様な性能に留意する																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉

泊発電所 3号炉

女川発電所 2号炉

差異理由

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（1 / 2）

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（1 / 2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の場合	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		
	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ		

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプ	冷却材ポンプ

※1：「重大事故等 重大事故等対策」に関する基準等が適用されるため、本表に記載している設備は、本表に記載している設備と異なる場合があります。
 ※2：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式炉内冷却材ポンプの運転に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：可搬式圧力注水ポンプより炉心注水する場合は注水ポンプを使用する。
 ※6：可搬式圧力注水ポンプの運転に使用する。手順は「1.6 (注)圧力注水ポンプの運転のための手順等」にて整備する。
 ※7：注水ポンプの運転に使用する。手順は「1.6 (注)圧力注水ポンプの運転のための手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：37年に適合する重大事故等対処設備 c：目的外用として整備する重大事故等対処設備

※1：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※2：可搬式圧力注水ポンプより炉心注水する場合は注水ポンプを使用する。
 ※3：可搬式圧力注水ポンプの運転に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：注水ポンプの運転に使用する。手順は「1.6 (注)圧力注水ポンプの運転のための手順等」にて整備する。
 ※5：注水ポンプの運転に使用する。手順は「1.6 (注)圧力注水ポンプの運転のための手順等」にて整備する。
 ※6：ディーゼル発電機等により駆動する。手順は「1.6 (注)圧力注水ポンプの運転のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：37年に適合する重大事故等対処設備 c：目的外用として整備する重大事故等対処設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（2 / 2）

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 （運転停止中のフロントライン系機能喪失時）（2 / 2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類		
運転停止中の場合	全熱除去ポンプ又は冷却材ポンプ	重水発生器2次側による炉心冷却（注水）	電動給水ポンプ ^a	重水発生器2次側 a	炉心の高い温度及び臨界管破損を防止する運転手順書		
			タービン駆動給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			電動注水ポンプ			多様性比較設備	
			脱気器タンク				
			蒸気発生器補助用脱気器ポンプ（電動） ^b			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	炉心の高い温度及び臨界管破損を防止する運転手順書
			蒸気発生器補助用脱気器ポンプ（蒸気） ^c				
			復水ピット			蒸気発生器1次側の注水のための手順	SA手順 ^d
			主熱交換器冷却				
タービンバイパス弁	多様性比較設備	SA手順 ^e					
タービンバイパス弁							
ポンプ ^f	多様性比較設備	SA手順 ^g					
送水車							

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類		
運転停止中の場合	全熱除去ポンプ又は冷却材ポンプ	重水発生器2次側による炉心冷却（注水）	電動給水ポンプ *1	重水発生器2次側 a	炉心の高い温度及び臨界管破損を防止する運転手順書		
			タービン駆動給水ポンプ				
			復水ピット				
			蒸気発生器				
			電動注水ポンプ			多様性比較設備	
			脱気器タンク				
			蒸気発生器補助用脱気器ポンプ *1 *2			蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）の手順	炉心の高い温度及び臨界管破損を防止する運転手順書
			蒸気発生器補助用脱気器ポンプ *2 *3				
			復水ピット			蒸気発生器1次側の注水のための手順	SA手順 ^d
			主熱交換器冷却				
タービンバイパス弁	多様性比較設備	SA手順 ^e					
タービンバイパス弁							
ポンプ *4	多様性比較設備	SA手順 ^g					
送水車							

※1：「大阪発電所」重水発生器等発生時に於ける原子炉冷却材ポンプの稼働に関する事項
 ※2：タービン駆動ポンプにより給電する。
 ※3：手順は「1.5 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 蒸気発生器タンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：37 号に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

*1：タービン駆動ポンプにより給電する。
 *2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *3：手順は「1.5 蒸気発生器タンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 *4：可搬式大型送水ポンプ車による揚水発電機を第一揚水とする。
 *5：重大事故対策は、2 次側給水ポンプ又は冷却材ポンプを稼働することにより行う。
 ※6：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該方式に適合する重大事故等対処設備 b：37 号に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順等	手順の分類
運転停止中の場合	安全駆動力喪失時	燃料貯留槽水ピット (重力注水)	燃料貯留槽水ピット (重力注水) を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		冷却材循環ポンプ	冷却材循環ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		冷却材ポンプ (自力冷却)	冷却材ポンプ (自力冷却) を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		燃料貯留槽水ピット	燃料貯留槽水ピットを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		凝縮水ピット	凝縮水ピットを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		燃料貯留槽タンク等	燃料貯留槽タンク等を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		軽油ドラム缶 ²⁾	軽油ドラム缶 ²⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等 ³⁾	タンクローリー等 ³⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		軽油ドラム缶 ²⁾	軽油ドラム缶 ²⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等 ³⁾	タンクローリー等 ³⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	整備する手順等	手順の分類
運転停止中の場合	安全駆動力喪失時	燃料貯留槽水ピット (重力注水)	燃料貯留槽水ピット (重力注水) を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		蓄圧タンク	蓄圧タンクを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		冷却材循環ポンプ	冷却材循環ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留槽損傷を防止する運転手順等
		冷却材ポンプ (自力冷却)	冷却材ポンプ (自力冷却) を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		燃料貯留槽水ピット	燃料貯留槽水ピットを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		凝縮水ピット	凝縮水ピットを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		燃料貯留槽タンク等	燃料貯留槽タンク等を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等	タンクローリー等を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		軽油ドラム缶 ²⁾	軽油ドラム缶 ²⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等 ³⁾	タンクローリー等 ³⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		軽油ドラム缶 ²⁾	軽油ドラム缶 ²⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾
		タンクローリー等 ³⁾	タンクローリー等 ³⁾ を用いた代償(炉心注水)による原子炉を冷却する手順	S/A西進 ¹⁾

注1：大事故発生時「重大事故発生初期における原子炉冷却の緊急のための活動に関する手順」にて整備する。
 注2：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注3：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注4：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注5：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注6：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注7：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注8：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注9：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注10：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注11：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注12：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注13：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注14：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注15：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注16：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注17：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注18：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注19：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注20：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。

注1：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注2：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注3：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注4：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注5：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注6：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注7：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注8：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注9：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注10：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注11：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注12：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注13：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注14：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注15：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注16：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注17：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注18：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注19：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。
 注20：注1の「1.14 燃料貯留槽タンク」にて整備する。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類			
運転停止中の機能喪失時	全空変動力電源*	電動機駆動給水ポンプ	a	重大事故等対処見込書	S A所定*			
		空内式射水用発電機装置**						
		タービン駆動給水ポンプ						
		戻水ピット						
		蒸気発生器						
		燃料油貯蔵タンク**						
		重油タンク**						
		タンクローリー**						
		蒸気発生器補助冷却器 中圧ポンプ(電動)**				多様性設備	蒸気発生器2台側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		戻水ピット				多様性設備	蒸気発生器補助冷却器(注水)による蒸気発生器への注水のための手順	S A所定*
原子炉補給冷却系	主蒸気送がし弁(設備半自動)**	a	主蒸気送がし弁補給冷却器の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
	ポンプ車**	多様性設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器の冷却のフェードアウト/アラートにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
原子炉補給冷却系	送水車	多様性設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	S A所定*				
	全空変動力電源喪失時の対応手段のうち代替冷却注水に関する設備と同様							
原子炉補給冷却系	A全動停止ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A全動停止ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心冷却により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
	電動機駆動ポンプ	多様性設備	清水ポンプを用いた代替炉心冷却により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
原子炉補給冷却系	全空変動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様							
	A全動停止ポンプ(空調用冷水)**	多様性設備	A全動停止ポンプ(空調用冷水)を用いた代替再循環運転により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備の分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の機能喪失時	全空変動力電源*1 又は 原子炉補給冷却系	電動機駆動給水ポンプ	a	重大事故等対処見込書	S A所定*
		代替炉心冷却電機**1			
		タービン駆動給水ポンプ			
		補助給水ピット			
		蒸気発生器			
		ディーゼル発電機補助冷却器**2			
		可変型タンクローリー**3			
		ディーゼル発電機補助冷却ポンプ**4			
		可変型大口径送水ポンプ**5			
		補助給水ピット			
可変型大口径送水ポンプ**6					
代替給水ピット					
可変型大口径送水ポンプ**7					
代替給水ピット					
可変型大口径送水ポンプ**8					
代替給水ピット					
主蒸気送がし弁(設備半自動)**4	a	主蒸気送がし弁(設備半自動)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
原子炉補給冷却系	可変型大口径送水ポンプ**9	多様性設備	可変型大口径送水ポンプ**9の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
	代替炉心注水	多様性設備	(A) 全空変動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に関する設備と同様	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
原子炉補給冷却系	電動機駆動給水ポンプ	多様性設備	(B) 全空変動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
	代替再循環運転	多様性設備	(C) 全空変動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	

*1：「大規模地震」重大事故等発生時に原子炉補給冷却系のための活動に関する手順
 *2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：空内式射水用発電機装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *6：手順は「1.5 蒸気発生器と熱交換器を冷却するための手順等」にて整備する。
 *7：重大事故等発生時に用いた設備の分類
 a：当該設備に適合する重大事故等対処設備 b：27.4に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

*1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：代替炉心冷却電機は設備に整備する。格納容器の手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *4：手順は「1.2 蒸気発生器と熱交換器を冷却するための手順等」にて整備する。
 *5：可変型大口径送水ポンプ車により発生を蒸気発生器へ送水する。
 *6：蒸気発生器への補助注。2次系配水タンク又は3次系配水タンクを降圧することにより行う。
 *7：(C) 3-事故対応再循環ユニットを稼働させて再循環を行う。手順は「1.7 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 *8：ディーゼル発電機補助冷却器は、可変型タンクローリーによるディーゼル発電機補助冷却器からの燃料汲上げができない場合に使用する。
 *9：重大事故等発生時に用いた設備の分類
 a：当該設備に適合する重大事故等対処設備 b：27.4に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																											
<p>第1.4.7表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <p>監視計器一覧（1/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A、B充てんポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td></td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量計	未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）	<p>第1.4.7表 重大事故等対処に係る監視計器</p> <p>1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <p>監視計器一覧（1/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 充てんポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・充てんライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(a) 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・充てんライン圧力		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																														
a. 炉心注水																																																																														
(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																											
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量計																																																																											
		未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計																																																																											
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																													
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																												
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																														
a. 炉心注水																																																																														
(a) 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・低圧注入流量																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・充てんライン圧力																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																
<p>監視計器一覧（2 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	補機監視機能	・燃料取替用水ビット水位計 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（2 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域)	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・充てんライン圧力	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉器水位	原子炉格納容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																			
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計																																																																																
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																
補機監視機能	・燃料取替用水ビット水位計 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																			
(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																
		補機監視機能	・充てんライン圧力																																																																																
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・炉心出口温度																																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉器水位																																																																																
原子炉格納容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																		
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																		
<p>監視計器一覧（3/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計	電源	・空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧（3/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>電源</td> <td>・代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・6-A、B相線電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>循環監視機能</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位	操作	電源	・代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・6-A、B相線電圧	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位	原子炉圧力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位	循環監視機能	・代替格納容器スプレイポンプ出口圧力		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																																			
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																		
未臨界の維持又は監視		・出力領域中性子束計 ・中間領域中性子束計 ・中性子源領域中性子束計 ・中間領域起動率計 ・中性子源領域起動率計																																																																																			
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																			
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計																																																																																			
電源		・空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																																																																			
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																			
	水源の確保	・燃料取替用水ビット水位																																																																																			
	操作	電源	・代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・6-A、B相線電圧																																																																																		
		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・炉心出口温度																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉水位																																																																																		
原子炉圧力容器内への注水量		・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																			
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位																																																																																			
循環監視機能		・代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																												
<p>監視計器一覧（4 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="112 359 705 1236"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子領域中性子束計</td> <td>・ 中性子領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）	<p>監視計器一覧（4 / 50）</p> <table border="1" data-bbox="772 359 1355 973"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ AM用消火水積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子領域中性子束計</td> <td>・ 中性子領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉格納容器内の水位	・ AM用消火水積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束	中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																													
	水源の確保	・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）																																																																																													
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																												
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計																																																																																												
未臨界の維持又は監視		出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																												
		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計																																																																																												
		中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束計																																																																																												
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																													
水源の確保		・ N o. 2淡水タンク水位計（C R T）																																																																																													
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																													
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																													
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																												
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																												
原子炉格納容器内の水位		・ AM用消火水積算流量																																																																																													
未臨界の維持又は監視		出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束																																																																																												
		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束																																																																																												
		中性子領域中性子束計	・ 中性子領域中性子束																																																																																												
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																													
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																								
<p>監視計器一覧（5 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 出力領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	・ 中性子源領域中性子束計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）	<p>監視計器一覧（5 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 湯水を用いた可搬式代替注水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉実測水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">本臨界の維持又は監視</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(d) 湯水を用いた可搬式代替注水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉実測水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）	本臨界の維持又は監視			・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																											
(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																								
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																								
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 出力領域中性子束計																																																																								
			・ 中間領域中性子束計																																																																								
		未臨界の維持又は監視	・ 中性子源領域中性子束計																																																																								
			・ 中間領域起動率計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）																																																																								
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																											
b. 代替炉心注水																																																																											
(d) 湯水を用いた可搬式代替注水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）																																																																								
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度計																																																																								
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉実測水位																																																																								
		原子炉格納容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイング出口積算流量計																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位（広域）																																																																								
本臨界の維持又は監視																																																																											
・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																								
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧（6/50）</p> <table border="1" data-bbox="772 183 1344 734"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">本装置の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（7/50）</p> <table border="1" data-bbox="772 805 1344 1428"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 3. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">本装置の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	本装置の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	水源の確保		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束		・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 3. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	本装置の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	水源の確保		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束		・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位		<p>設備の相違 (差異理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
	本装置の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																								
		水源の確保		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束																																																																							
				・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																							
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 3. 代替炉心注水																																																																										
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高量程） ・ 1次冷却材温度（広域-低量程）																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																									
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																									
	本装置の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																								
		水源の確保		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束																																																																							
				・ 2次系絶水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																							
		<p>泊3号炉との比較対象なし</p>			<p>設備の相違 (差異理由③)</p>																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																										
<p>監視計器一覧（6 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（8 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
		補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																									
		操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量																																																																										
	原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																												
<p>監視計器一覧（7 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 459 353 528">対応手段</th> <th data-bbox="353 459 474 528">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="474 459 698 528">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 528 698 550">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 550 698 572">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 572 698 595">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 595 320 879" rowspan="5">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td data-bbox="320 595 474 663" rowspan="2">判断基準</td> <td data-bbox="474 595 698 663">原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 663 698 708">原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 708 474 753">原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 753 474 798">原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 798 474 879">原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 879 474 1139" rowspan="5">操作</td> <td data-bbox="474 879 698 948">原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 948 698 992">原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 992 698 1037">原子炉圧力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1037 698 1106">原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="474 1106 698 1139">補機監視機能 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（9 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="772 459 1012 497">対応手段</th> <th data-bbox="1012 459 1137 497">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1137 459 1361 497">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="772 497 1361 536">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td data-bbox="772 536 1012 683" rowspan="4">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td data-bbox="1012 536 1137 683" rowspan="4">判断基準</td> <td data-bbox="1137 536 1361 580">原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 580 1361 625">原子炉圧力容器内への注水量 ・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 625 1361 670">原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） 補機監視機能 ・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 670 1361 715">原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="772 715 1012 861" rowspan="5"></td> <td data-bbox="1012 715 1137 861" rowspan="5">操作</td> <td data-bbox="1137 715 1361 759">原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 759 1361 804">原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 804 1361 849">原子炉圧力容器内への注水量 ・B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 849 1361 893">原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1137 893 1361 938">原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内への注水量 ・高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） 補機監視機能 ・高圧注入ポンプ出口圧力	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度		操作	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位	原子炉圧力容器内への注水量 ・B-格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																															
d. 代替再循環運転																																															
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																													
		原子炉圧力容器内の圧力 ・1次冷却材圧力計																																													
	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位計																																														
	原子炉圧力容器内への注水量 ・余熱除去流量計																																														
	原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																														
操作	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																														
	原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位計																																														
	原子炉圧力容器内への注水量 ・A余熱除去流量計																																														
	原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																														
	補機監視機能 ・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転																																															
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）																																													
		原子炉圧力容器内への注水量 ・高圧注入流量																																													
		原子炉格納容器内の水位 ・格納容器再循環サンプ水位（広域） 補機監視機能 ・高圧注入ポンプ出口圧力																																													
		原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																													
	操作	原子炉圧力容器内の水位 ・加圧器水位																																													
		原子炉圧力容器内の水位 ・原子炉水位																																													
		原子炉圧力容器内への注水量 ・B-格納容器スプレイ流量																																													
		原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																													
		原子炉格納容器内の水位 ・B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																					
<p>監視計器一覧（8 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準 </td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> ・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> ・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> ・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td> ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	補機監視機能		・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		・高圧注入ポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（10 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準 </td> <td rowspan="4"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内への注水量 </td> <td> ・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・高圧注入流量 ・格納容器スプレイ流量 ・低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"> 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 </td> <td> ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） </td> </tr> <tr> <td> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td> ・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> ・余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内への注水量	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・高圧注入流量 ・格納容器スプレイ流量 ・低圧注入流量	原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	・余熱除去ポンプ電流		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																								
d. 代替再循環運転																																																								
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																						
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																						
	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																						
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																						
	補機監視機能		・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																					
			・高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																					
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																								
d. 代替再循環運転																																																								
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順 判断基準	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内への注水量	・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・高圧注入流量 ・格納容器スプレイ流量 ・低圧注入流量																																																						
		原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																					
			原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力																																																				
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ電流																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																							
<p>監視計器一覧（9/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプリング水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・N.o. 3淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・N.o. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプリング水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計	・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	・復水ピット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計（CRT）	・N.o. 3淡水タンク水位計（CRT）	補機監視機能	・N.o. 2淡水タンク水位計（CRT）	・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（11/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量 ・充てん流量 ・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプリング水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・使用済燃料ピット水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・非揮発性タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸補給ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸補給ライン流量積算制御</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水補給ライン流量 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・充てん流量 ・低圧注入流量	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプリング水位（広域） ・格納容器水位	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	・1次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	・使用済燃料ピット水位	・ほう酸タンク水位	最終ヒートシンクの確保	・非揮発性タンク水位	・ほう酸補給ライン流量	・ほう酸補給ライン流量積算制御	・1次系純水補給ライン流量 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位	補機監視機能	・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	・高圧注入ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																										
d. 代替再循環運転																																																																																										
(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																							
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプリング水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																							
			・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																							
			・主蒸気圧力計																																																																																							
			・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計																																																																																							
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																							
			・復水ピット水位計																																																																																							
			・ほう酸タンク水位計																																																																																							
・1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																										
・N.o. 3淡水タンク水位計（CRT）																																																																																										
補機監視機能	・N.o. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																									
	・体積制御タンク水位計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																										
d. 代替再循環運転																																																																																										
(b) 格納容器再循環サンプリング閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量 ・充てん流量 ・低圧注入流量																																																																																							
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量																																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（AM用） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプリング水位（広域） ・格納容器水位																																																																																							
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																							
			・1次系純水タンク水位																																																																																							
			・2次系純水タンク水位																																																																																							
			・使用済燃料ピット水位																																																																																							
			・ほう酸タンク水位																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・非揮発性タンク水位																																																																																							
・ほう酸補給ライン流量																																																																																										
・ほう酸補給ライン流量積算制御																																																																																										
・1次系純水補給ライン流量 ・1次系純水補給ライン流量積算制御 ・ろ過水タンク水位																																																																																										
補機監視機能	・主蒸気ライン圧力 ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																																																									
	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																									
	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（10/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計		原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。		<p>監視計器一覧（12/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・励磁機1L、2L電圧 ・巻芯幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・5-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.、(b)ii.と同様。</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">大飯3/4号炉との比較対象なし</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	電源	・励磁機1L、2L電圧 ・巻芯幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・5-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.1(1)b.、(b)ii.と同様。		大飯3/4号炉との比較対象なし				<p>設備の相違 (差異理由⑧)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																									
a. 代替炉心注水																																																																																									
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																																						
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																						
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																																																						
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																																						
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																								
(b) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																						
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																						
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																																																						
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																																																						
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																									
a. 代替炉心注水																																																																																									
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	電源	・励磁機1L、2L電圧 ・巻芯幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・5-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																						
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量計																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																						
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																						
	操作	1.4.2.1(1)b.、(b)ii.と同様。																																																																																							
	大飯3/4号炉との比較対象なし																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉			女川発電所2号炉			差異理由	
監視計器一覧（11 / 48）										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計 							
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 							
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 							
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 							
監視計器一覧（12 / 48）										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉水位計 ・加圧器水位計 							
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計							
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内積算サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計 							
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計 							
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・B充てんポンプ封水冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計 							
		監視計器一覧（13 / 50）								
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器						
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水								
		(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧 					
					補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計 				
原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 									
	原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力（広域）						
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位									
原子炉格納容器内への注水量	・ 恒設格納容器サブレイバンプ出口積算流量計									
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器内積算サンプ水位（広域）									
水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 炉心出口温度計 									
原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） 									
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）									
原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 									
原子炉格納容器内への注水量	・ 充てん流量計									
原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内積算サンプ水位（広域） 									
水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ B-充てんポンプ封水冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量計 ・ B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量計 									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																											
<p>監視計器一覧（13 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器排水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能	・充てん水圧力計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器排水流量計（CRT）	<p>監視計器一覧（14 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(e) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="7">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(e) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・充てんライン圧力	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	補機冷却	・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																														
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																														
a. 代替炉心注水																																																																														
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																											
		補機監視機能	・充てん水圧力計																																																																											
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																													
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器排水流量計（CRT）																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																														
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																														
a. 代替炉心注水																																																																														
(e) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		補機監視機能	・充てんライン圧力																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																											
		補機冷却	・B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量																																																																											
<p>監視計器一覧（14 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機冷却	・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																														
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																														
a. 代替炉心注水																																																																														
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																											
		補機冷却	・A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																															
<p>監視計器一覧（15 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(c)(g)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(c)(g)(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・A余熱除去流量計	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(c)(g)と同様。		判断基準	監視項目	監視計器	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・A余熱除去流量計	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機監視機能	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(c)(g)(d)と同様。		<p>監視計器一覧（15 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水脈の確保</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) b. (c) ii. と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（16 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) b. (d) a. と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	・加圧器水位	原子炉压力容器内の水位	・B-格納容器スプレイ流量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ろ過水タンク水位	水脈の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	1.4.2.1(i) b. (c) ii. と同様。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	・加圧器水位	原子炉压力容器内の水位	・B-格納容器スプレイ流量	・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ろ過水タンク水位	操作	1.4.2.1(i) b. (d) a. と同様。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																		
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																
	・炉心出口温度計																																																																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																
		・加圧器水位計																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	・A余熱除去流量計																																																																																																
		・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																
	電源	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																
		・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																
・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																		
操作	1.4.2.1(c)(g)と同様。																																																																																																	
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																
原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																	
	・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																	
・炉心出口温度計																																																																																																		
原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
	・加圧器水位計																																																																																																	
原子炉压力容器内の水位	・A余熱除去流量計																																																																																																	
	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																	
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																	
	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																																	
補機監視機能	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																	
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																	
操作	1.4.2.1(c)(g)(d)と同様。																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																
		・加圧器水位																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	・B-格納容器スプレイ流量																																																																																																
		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																
		・ろ過水タンク水位																																																																																																
	水脈の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																
		・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																																
操作	1.4.2.1(i) b. (c) ii. と同様。																																																																																																	
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																																		
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準 原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																																
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																
	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																
		・加圧器水位																																																																																																
	原子炉压力容器内の水位	・B-格納容器スプレイ流量																																																																																																
		・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																
		・ろ過水タンク水位																																																																																																
	操作	1.4.2.1(i) b. (d) a. と同様。																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 55%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (e) i. と同様。</td> </tr> </table>	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 		操作	1.4.2.1(1) b. (e) i. と同様。			設備の相違 (差異理由③)
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準		原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 															
	原子炉圧力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																
	原子炉圧力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																
	原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 																
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 																	
	操作	1.4.2.1(1) b. (e) i. と同様。																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 55%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (f) i. と同様。</td> </tr> </table>	(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 		操作	1.4.2.1(1) b. (f) i. と同様。			設備の相違 (差異理由③)
(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準		原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 															
	原子炉圧力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																
	原子炉圧力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 																
	原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 																
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） 																	
	操作	1.4.2.1(1) b. (f) i. と同様。																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																		
<p>監視計器一覧（16 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出力計</td> </tr> <tr> <td>・ 大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の水位	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	電源	・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	補機冷却	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の水位	・ B高圧注入流量計	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉圧力容器内の注水量	・ B高圧注入ポンプ吐出力計	・ 大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。	<p>監視計器一覧（17 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合</td> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 母線線1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 巻芯線線1 L、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 5-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び補機電動機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補機監視機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合	電源	・ 母線線1 L、2 L 電圧	・ 巻芯線線1 L、2 L 電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 5-A、B、C1、C2、D 母線電圧	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ A-高圧注入ポンプ及び補機電動機冷却水流量	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉容器水位	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	・ 補機監視機能	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）通水」にて整備する。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																			
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																			
		・ 1次冷却材圧力計																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																			
		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																			
		・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																			
	電源	・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																			
		・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																			
	補機冷却	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																			
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																			
	i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計																																																																		
			・ 原子炉水位計																																																																		
原子炉圧力容器内の水位		・ B高圧注入流量計																																																																			
		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																			
原子炉圧力容器内の注水量		・ B高圧注入ポンプ吐出力計																																																																			
		・ 大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。																																																																			
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事故が同時に発生した場合		電源	・ 母線線1 L、2 L 電圧																																																																		
			・ 巻芯線線1 L、2 L 電圧																																																																		
			・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																		
	・ 5-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																				
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																			
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																			
		・ A-高圧注入ポンプ及び補機電動機冷却水流量																																																																			
	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																			
		・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																			
	1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																		
			・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度																																																																		
			・ 加圧器水位																																																																		
原子炉圧力容器内の注水量		・ 原子炉容器水位																																																																			
		・ 高圧注入流量																																																																			
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																			
		・ 補機監視機能																																																																			
補機監視機能		・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																			
		可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																															
<p>監視計器一覧（17 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="116 478 701 1120"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 478 349 550">対応手段</th> <th data-bbox="349 478 479 550">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 478 701 550">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 550 701 574">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 574 701 598">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 598 701 622">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 622 701 646">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 646 318 1120" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="318 646 479 718" rowspan="2">判断基準</td> <td data-bbox="479 646 701 718">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 646 701 718"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 718 701 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 718 701 758">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 758 701 798">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 758 701 798">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 798 701 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="479 798 701 837">・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 837 701 877">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 837 701 877">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 877 701 917">補機冷却</td> <td data-bbox="479 877 701 917">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 917 701 1120">操作</td> <td data-bbox="479 917 701 1120"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計 空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計 空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</div>		設備の相違 （差異理由⑧）
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																		
b. 代替再循環運転																																		
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																		
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																															
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																
	補機冷却	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																
	操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計 空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																													
<p>監視計器一覧（18 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流速計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流速計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計	補機冷却	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流速計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流速計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。		<p>監視計器一覧（18 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A—格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>i. A—高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td>・ A—高圧注入ポンプ及び加圧器補機冷却水流速計 ・ A—高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流速計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(2) b. (a) i. (ii)と同様。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA—高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）連水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（19 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			判断基準	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）	原子炉格納容器内の水位	・ A—格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	i. A—高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	・ A—高圧注入ポンプ及び加圧器補機冷却水流速計 ・ A—高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流速計		1.4.2.1(2) b. (a) i. (ii)と同様。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA—高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）連水」にて整備する。	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			判断基準	電源	・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	操作	—		<p>記載方針の相違 ・ 泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
b. 代替再循環運転																																																																																
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																													
	監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																													
		原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																													
	補機冷却	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																													
		補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流速計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流速計																																																																													
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
b. 代替再循環運転																																																																																
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																
判断基準	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計																																																																														
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）																																																																														
	原子炉格納容器内の水位	・ A—格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																														
操作	i. A—高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	・ A—高圧注入ポンプ及び加圧器補機冷却水流速計 ・ A—高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流速計																																																																														
		1.4.2.1(2) b. (a) i. (ii)と同様。 可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA—高圧注入ポンプ（海水冷却）への補機冷却水（海水）連水」にて整備する。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
判断基準	電源	・ 泊幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																														
	操作	—																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																											
<p>監視計器一覧（19/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）	・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）	・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。	<p>監視計器一覧（20/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイの手順は、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a. (a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。 可搬型格納容器内水素濃度計ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計ユニット」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイの手順は、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a. (a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。 可搬型格納容器内水素濃度計ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計ユニット」にて整備する。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																														
③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器の温度	・炉心出口温度計																																																											
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																											
		最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用）																																																											
			・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計（CRT）																																																											
	・原子炉補機冷却水戻り母管温度計（CRT）																																																													
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																												
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																											
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																												
格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																														
③ 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																											
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエアモニタ（高レンジ）																																																											
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																											
		最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																											
			・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																											
	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																												
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位																																																											
格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイの手順は、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a. (a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。 可搬型格納容器内水素濃度計ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a.「可搬型格納容器内水素濃度計ユニット」にて整備する。																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（20 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉圧力容器内の注水量</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	補機監視機能	・原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計	操作	水源の確保	・復水ビット水位計	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	電源	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	操作	・蒸気発生器補助給水流量計	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・脱気器タンク水位計（CRT）	泊3号炉との比較対象なし			<p>監視計器一覧（21 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・治時線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準 原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>・蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)も、「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の注水量	・低圧注入流量	水源の確保	・補助給水ビット水位	操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力	—	・余熱除去ポンプ電流	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量	電源	・治時線1L、2L電圧	・後志幹線1L、2L電圧	操作	・甲母線電圧、乙母線電圧	・6-C1、C2、D母線電圧	(c) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）	・1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・主給水ライン流量	操作	・蒸気発生器水張り流量	水源の確保	・補助給水ビット水位	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)も、「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。				<p>設備の相違 (差異理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																									
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																							
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																																							
		・1次冷却材圧力計																																																																																							
補機監視機能	・原子炉圧力容器内の注水量																																																																																								
	・余熱除去流量計																																																																																								
操作	水源の確保	・復水ビット水位計																																																																																							
	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	—																																																																																							
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																							
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																																							
		・1次冷却材圧力計																																																																																							
電源	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）																																																																																							
	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																								
操作	・蒸気発生器補助給水流量計	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																							
	水源の確保	・脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																							
泊3号炉との比較対象なし																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																									
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																							
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																							
	原子炉圧力容器内の注水量	・低圧注入流量																																																																																							
		水源の確保	・補助給水ビット水位																																																																																						
操作	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																							
	—	・余熱除去ポンプ電流																																																																																							
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																							
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																							
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																							
		・補助給水流量																																																																																							
電源	・治時線1L、2L電圧																																																																																								
	・後志幹線1L、2L電圧																																																																																								
操作	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																								
	・6-C1、C2、D母線電圧																																																																																								
(c) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準 原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																							
		・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																							
最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																								
	・主給水ライン流量																																																																																								
操作	・蒸気発生器水張り流量																																																																																								
	水源の確保	・補助給水ビット水位																																																																																							
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)も、「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																	
<div data-bbox="107 513 707 807" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="203 855 613 903" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> 泊3号炉との比較対象なし </div> <div data-bbox="203 1002 613 1050" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）	水源の確保	・復水ピット水位計	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<div data-bbox="757 469 981 491" style="margin-bottom: 10px;"> 監視計器一覧（22/50） </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対処手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<div data-bbox="2022 839 2134 887" style="margin-top: 20px;"> 設備の相違 （差異理由④） </div> <div data-bbox="2022 986 2134 1034" style="margin-top: 20px;"> 設備の相違 （差異理由④） </div>
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																	
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水振り流量計（CRT）																																	
	水源の確保	・復水ピット水位計																																		
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																				
対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																				
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																		
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																		
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																		
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																		
(f) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																		
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																		
<p>監視計器一覧（21/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 352 344 424">対応手段</th> <th data-bbox="344 352 479 424">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 352 701 424">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 424 701 448">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 448 701 472">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 472 701 496">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 496 322 842" rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出</td> <td data-bbox="322 496 479 568" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 496 701 520">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 520 701 544">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 568 479 592">原子炉圧力容器内の炉心出口温度計</td> <td data-bbox="479 568 701 592">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 592 479 616">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 592 701 616">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 616 479 639">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 616 701 639">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 639 479 663" rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 639 701 663">・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 663 701 687">・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 687 701 711">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 711 701 735">・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 735 479 759" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 735 701 759">・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 759 701 783">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 783 479 842">操作</td> <td data-bbox="479 783 701 842">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 842 701 1225" rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td data-bbox="322 842 479 914" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 842 701 866">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 866 701 890">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 914 479 938">原子炉圧力容器内の炉心出口温度計</td> <td data-bbox="479 914 701 938">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 938 479 962">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 938 701 962">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 962 479 986" rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 962 701 986">・ 主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 986 701 1010">・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1010 701 1034">・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1034 701 1058">・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1058 701 1082">・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1082 701 1106">・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1106 479 1129">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 1106 701 1129">・ 復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1129 479 1185">電源</td> <td data-bbox="479 1129 701 1185">・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1185 479 1225">操作</td> <td data-bbox="479 1185 701 1225">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	補機監視機能	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）	補機監視機能	・ 復水器真空度計（広域）	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	—	<p>監視計器一覧（23/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="761 352 1037 392">対応手段</th> <th data-bbox="1037 352 1142 392">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1142 352 1359 392">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="761 392 1359 416">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="761 416 1359 440">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="761 440 1359 464">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="761 464 1001 711" rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出</td> <td data-bbox="1001 464 1037 711" rowspan="5">判断基準</td> <td data-bbox="1037 464 1359 488">原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 488 1359 512">・ 1次冷却材温度（広域-高集側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 512 1359 536">・ 1次冷却材温度（広域-低集側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 536 1359 560">原子炉圧力容器内への注水量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 560 1359 584">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1001 584 1037 711" rowspan="5">操作</td> <td data-bbox="1037 584 1359 608">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 608 1359 632">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 632 1359 655">・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 655 1359 679">・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 679 1359 703">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="761 711 1001 1031" rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td data-bbox="1001 711 1037 1031" rowspan="5">判断基準</td> <td data-bbox="1037 711 1359 735">原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 735 1359 759">・ 1次冷却材温度（広域-高集側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 759 1359 783">・ 1次冷却材温度（広域-低集側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 783 1359 807">・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 807 1359 831">・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1001 831 1037 1031" rowspan="5">電源</td> <td data-bbox="1037 831 1359 855">・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 855 1359 879">・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 879 1359 903">・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 903 1359 927">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 927 1359 951">・ 復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="761 1031 1001 1225" rowspan="5">操作</td> <td data-bbox="1001 1031 1037 1225" rowspan="5">電源</td> <td data-bbox="1037 1031 1359 1054">・ 回転機1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1054 1359 1078">・ 反応停線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1078 1359 1102">・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1102 1359 1126">・ 4-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1126 1359 1150">—</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高集側）	・ 1次冷却材温度（広域-低集側）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	操作	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量	・ 補助給水流量	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高集側）	・ 1次冷却材温度（広域-低集側）	・ 主蒸気ライン圧力	・ 蒸気発生器水位（広域）	電源	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量	・ 補助給水流量	・ 復水器真空（広域）	操作	電源	・ 回転機1L、2L電圧	・ 反応停線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 4-C1、C2、D母線電圧	—		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																					
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																																					
(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																			
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																			
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																			
		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																			
	補機監視機能	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																			
・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																					
操作	—																																																																																																				
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																																			
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計																																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																			
	最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																			
		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																			
補機監視機能	・ 復水器真空度計（広域）																																																																																																				
電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																				
操作	—																																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																					
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																																					
(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度（広域-高集側）																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度（広域-低集側）																																																																																																			
		原子炉圧力容器内への注水量																																																																																																			
		・ 低圧注入流量																																																																																																			
	操作	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																			
		・ 主給水ライン流量																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																			
		・ 補助給水流量																																																																																																			
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度（広域-高集側）																																																																																																			
		・ 1次冷却材温度（広域-低集側）																																																																																																			
		・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																			
	電源	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																			
		・ 主給水ライン流量																																																																																																			
		・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																			
		・ 補助給水流量																																																																																																			
		・ 復水器真空（広域）																																																																																																			
操作	電源	・ 回転機1L、2L電圧																																																																																																			
		・ 反応停線1L、2L電圧																																																																																																			
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																			
		・ 4-C1、C2、D母線電圧																																																																																																			
		—																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																														
<p>監視計器一覧（22 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクへの注水量</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクへの注水量	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（24 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域・高温側） ・ 1次冷却材温度（広域・低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域・高温側） ・ 1次冷却材温度（広域・低温側）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																	
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																														
	操作	最終ヒートシンクへの注水量	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																														
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																														
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																	
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域・高温側） ・ 1次冷却材温度（広域・低温側）																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																														
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量																																														
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																														
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																													
<p>監視計器一覧（23/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。		<p>監視計器一覧（25/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-蒸気側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・泊幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・0-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2（1）a.（a）B.と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-蒸気側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気発生器水位（広域）</td> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)h.「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-蒸気側）	・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	水源の確保	・補助給水ビット水位	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流	電源	・泊幹線1L、2L電圧	・後志幹線1L、2L電圧	・甲母線電圧、乙母線電圧	・0-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量	操作	1.4.2.2（1）a.（a）B.と同様。		(b) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-蒸気側）	・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）	蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	水源の確保	・補助給水流量	・補助給水ビット水位	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)h.「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p>設備の相違 (差異理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																														
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																														
	・炉心出口温度計																																																																															
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																														
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																														
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																															
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																															
	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																															
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-蒸気側）																																																																														
		・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）																																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																																														
	水源の確保	・補助給水ビット水位																																																																														
	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																														
		・余熱除去ポンプ電流																																																																														
	電源	・泊幹線1L、2L電圧																																																																														
		・後志幹線1L、2L電圧																																																																														
		・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																														
		・0-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																															
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量																																																																															
操作	1.4.2.2（1）a.（a）B.と同様。																																																																															
(b) S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-蒸気側）																																																																														
		・1次冷却材温度（広域-低蒸気側）																																																																														
	蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（広域）																																																																														
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																														
	水源の確保	・補助給水流量																																																																														
		・補助給水ビット水位																																																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)h.「S G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																															
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																												
<p>(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</p> <table border="1" data-bbox="107 338 705 774"> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2"> 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 	補機監視機能	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 		<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>監視計器一覧（26/50）</p> <table border="1" data-bbox="750 470 1377 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要とする監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要とする監視項目	監視計器	1.4.2.3 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">設備の相違 （差異理由④）</p> <p style="text-align: center;">設備の相違 （差異理由④）</p>
判断基準		原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																												
	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																													
最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 																																																													
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 																																																													
補機監視機能	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																													
操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要とする監視項目	監視計器																																																													
1.4.2.3 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																															
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																															
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																															
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																									
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																													
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																														
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																									
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																													
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																														
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1"> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																									
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																													
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量 																																																														
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																							
<p>監視計器一覧（24 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の炉心出口温度計</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器補助水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 余熱除去流量計	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・ 蒸気発生器補助水流量計	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧（27 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 汽輪機1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 後送母線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	補機監視機能	・ 補助給水流量	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	電源	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 汽輪機1L、2L電圧	補機監視機能	・ 後送母線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																										
(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																								
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																								
	原子炉圧力容器内の炉心出口温度計	・ 炉心出口温度計																																																																								
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力計																																																																								
	最終ヒートシンクの確保	・ 余熱除去流量計																																																																								
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																								
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																								
	電源	・ 蒸気発生器補助水流量計																																																																								
		・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																								
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																								
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																										
操作	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																									
「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																										
(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																								
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																								
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																								
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																								
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																								
	補機監視機能	・ 補助給水流量																																																																								
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																								
	電源	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																								
		・ 汽輪機1L、2L電圧																																																																								
	補機監視機能	・ 後送母線1L、2L電圧																																																																								
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																										
・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																										
操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																									
「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																				
<p>監視計器一覧（25 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 518 349 587">対応手段</th> <th data-bbox="349 518 477 587">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 518 698 587">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 587 698 614">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 614 698 641">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 641 315 1082" rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="315 641 349 1082" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="349 641 477 687">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="477 641 698 687"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 687 477 718">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="477 687 698 718"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 718 477 780">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="477 718 698 780"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 780 477 842">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="477 780 698 842"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 842 477 904">電源</td> <td data-bbox="477 842 698 904"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 904 477 1082">補機監視機能</td> <td data-bbox="477 904 698 1082"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1018 349 1082">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="349 1018 698 1082"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a「ポンプ室を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a「ポンプ室を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。		<p>監視計器一覧（28 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="770 518 1010 564">対応手段</th> <th data-bbox="1010 518 1137 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1137 518 1359 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="770 564 1359 592">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="770 592 1359 619">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="770 619 1010 975" rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="1010 619 1043 975" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="1043 619 1137 646">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1137 619 1359 646"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1043 646 1137 673">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1137 646 1359 673"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入口流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1043 673 1137 735">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1137 673 1359 735"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1043 735 1137 782">補機監視機能</td> <td data-bbox="1137 735 1359 782"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1043 782 1137 844">電源</td> <td data-bbox="1137 782 1359 844"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧1L、0L電圧 ・ 後巻幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 5-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1043 844 1137 922">補機監視機能</td> <td data-bbox="1137 844 1359 922"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1010 922 1043 975">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1043 922 1359 975"> 「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入口流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧1L、0L電圧 ・ 後巻幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 5-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																							
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） 																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 炉心出口温度計 																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 																																																				
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																				
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a「ポンプ室を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																							
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入口流量 																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 																																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																				
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線電圧1L、0L電圧 ・ 後巻幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 5-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																				
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 																																																				
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																		
<p>監視計器一覧（26 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次系純水タンク水位計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A、B充てんポンプによる炉心注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td>中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	補機監視機能	・ 1次系純水タンク水位計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	操作	出力領域中性子束計	中間領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	水源の確保	中性子源領域起動率計	燃料取替用水ビット水位計	復水ビット水位計	ほう酸タンク水位計	・ 1次系純水タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧（29 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 充てんポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(a) 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																					
a. 炉心注水																																																																																					
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																			
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																			
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																			
	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																			
	水源の確保	燃料取替用水ビット水位計																																																																																			
		復水ビット水位計																																																																																			
		ほう酸タンク水位計																																																																																			
	補機監視機能	・ 1次系純水タンク水位計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																			
	(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計																																																																																		
原子炉压力容器内の水位		・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																			
原子炉压力容器内の注水量		・ 充てん水流量計																																																																																			
操作		出力領域中性子束計																																																																																			
		中間領域中性子束計																																																																																			
		中性子源領域中性子束計																																																																																			
		中間領域起動率計																																																																																			
水源の確保		中性子源領域起動率計																																																																																			
		燃料取替用水ビット水位計																																																																																			
	復水ビット水位計																																																																																				
	ほう酸タンク水位計																																																																																				
・ 1次系純水タンク水位計（CRT）																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																					
a. 炉心注水																																																																																					
(a) 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																		
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																		
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側）																																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																		
		原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量																																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																		
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																				
<p>監視計器一覧（27 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧（30 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力		<p style="text-align: center;">設備の相違 （差異理由⑨）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
a. 炉心注水																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量計																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																					
原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量計																																																																																					
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																					
原子炉圧力容器内の温度		・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																					
原子炉圧力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力計																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																					
	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																					
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																					
	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
a. 炉心注水																																																																																							
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																					
	補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																																				
原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																					
原子炉圧力容器内への注水量		・ 高圧注入流量																																																																																					
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																					
補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																				
<p>監視計器一覧（28/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・蓄圧タンク水位計（CRT） ・蓄圧タンク圧力計（CRT） ・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(d)(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT） ・蓄圧タンク圧力計（CRT） ・燃料取替用水ピット水位計	1.4.2.1(d)(a)と同様。		<p>監視計器一覧（31/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>循環監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>循環監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>循環監視機能</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (a) Ⅱ.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位	循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力	1.4.2.1(d) b. (a) Ⅱ.と同様。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																							
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																				
		水源の確保	・高圧注入流量計 ・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・加圧器水位計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の注水量	・余熱除去流量計																																																																																																				
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																				
(b) A格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																				
		水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT） ・蓄圧タンク圧力計（CRT） ・燃料取替用水ピット水位計																																																																																																				
		1.4.2.1(d)(a)と同様。																																																																																																					
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																							
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統ループ水位																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量																																																																																																				
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																				
		循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																				
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量																																																																																																				
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																				
		循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																				
(b) B-格納容器スプレイポンプ（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の注水量	・高圧注入流量																																																																																																				
	操作	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																				
		循環監視機能	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																				
		1.4.2.1(d) b. (a) Ⅱ.と同様。																																																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																						
<p>監視計器一覧（29 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 418 349 488">対応手段</th> <th data-bbox="349 418 477 488">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 418 701 488">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 488 701 555"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 555 315 866" rowspan="6"> (c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 </td> <td data-bbox="315 555 477 625" rowspan="2"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="477 555 701 625"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 625 477 668"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="477 625 701 668"> ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 668 477 711"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="477 668 701 711"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 711 477 754"> 原子炉圧力容器内への注水量 </td> <td data-bbox="477 711 701 754"> ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 754 477 825"> 水源の確保 </td> <td data-bbox="477 754 701 825"> ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 825 477 866"> 操作 </td> <td colspan="2" data-bbox="477 825 701 866"> 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 866 315 1185" rowspan="6"> (d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 </td> <td data-bbox="315 866 477 936" rowspan="2"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="477 866 701 936"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 936 477 979"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="477 936 701 979"> ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 979 477 1023"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="477 979 701 1023"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1023 477 1093"> 原子炉圧力容器内への注水量 </td> <td data-bbox="477 1023 701 1093"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1093 477 1136"> 水源の確保 </td> <td data-bbox="477 1093 701 1136"> ・ No. 2淡水タンク水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1136 477 1185"> 操作 </td> <td colspan="2" data-bbox="477 1136 701 1185"> 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	操作	1.4.2.1(1)b.(c)と同様。		<p>監視計器一覧（32 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="770 418 1037 464">対応手段</th> <th data-bbox="1037 418 1142 464">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1142 418 1359 464">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="770 464 1359 507"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="770 507 1014 735" rowspan="5"> (c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水 </td> <td data-bbox="1014 507 1077 735" rowspan="5"> 判断基準 </td> <td data-bbox="1077 507 1359 569"> 原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 569 1359 612"> 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 612 1359 689"> 原子炉圧力容器内への注水量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 689 1359 732"> 水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 732 1359 735"> 操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="770 735 1014 936" rowspan="5"> (d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水 </td> <td data-bbox="1014 735 1077 936" rowspan="5"> 判断基準 </td> <td data-bbox="1077 735 1359 798"> 原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 798 1359 841"> 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 841 1359 903"> 原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 903 1359 936"> 水源の確保 ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 936 1359 940"> 操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水			(c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位	操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。	(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位	水源の確保 ・ ろ過水タンク水位	操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水																																																									
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																							
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																							
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																							
	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																							
(d) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																							
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																							
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																							
	操作	1.4.2.1(1)b.(c)と同様。																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水																																																									
(c) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																							
		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																							
		水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																							
		操作 1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																							
(d) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																							
		原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位																																																							
		水源の確保 ・ ろ過水タンク水位																																																							
		操作 1.4.2.1(1)b.(c)と同様。																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																		
<p>監視計器一覧（30/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 336 701 743"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b.(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。	<p>監視計器一覧（33/50）</p> <table border="1" data-bbox="757 472 1373 1142"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b、(d)ii、と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b、(e)ii、と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(g) 原水種を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(i)b、(f)ii、と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(i)b、(d)ii、と同様。	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(i)b、(e)ii、と同様。	(g) 原水種を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(i)b、(f)ii、と同様。		<p style="color: red;">設備の相違 (差異理由③)</p> <p style="color: red; margin-top: 20px;">設備の相違 (差異理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																					
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																			
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT） ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																			
	操作	1.4.2.1(i)b.(d)と同様。																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 代替炉心注水																																																																					
(a) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																			
	操作	1.4.2.1(i)b、(d)ii、と同様。																																																																			
	(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																	
原子炉压力容器内の水位			・ 加圧器水位																																																																		
原子炉压力容器内の注水量		・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																			
操作		1.4.2.1(i)b、(e)ii、と同様。																																																																			
(g) 原水種を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水		判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																	
	原子炉压力容器内の水位		・ 加圧器水位																																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																			
	操作	1.4.2.1(i)b、(f)ii、と同様。																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																														
<p>監視計器一覧（31 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。	<p>監視計器一覧（34 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注入量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水漏れの確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内への注入量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水漏れの確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																	
c. 再循環運転																																																																	
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																														
			1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																	
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																	
c. 再循環運転																																																																	
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																														
		原子炉圧力容器内への注入量	・ 低圧注入流量																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																														
		水漏れの確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																														
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																														
	操作	1.4.2.1(i) c. (a) ii. と同様。																																																															
		<p>監視計器一覧（32 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。		<p>1.4.2.3 運転停止中の場合</p> <p>(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</p> <p>d. 代替再循環運転</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注入量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内への注入量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。																				
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
		1.4.2.3 運転停止中の場合																																																															
		(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																															
d. 代替再循環運転																																																																	
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																														
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 補機監視機能 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																														
	操作	1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。																																																															
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																													
		(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																												
				原子炉圧力容器内への注入量	・ 高圧注入流量																																																												
				原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																												
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																
操作	1.4.2.1(i) d. (a) ii. と同様。																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																							
<p>監視計器一覧（33 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保 補機監視機能</td> <td>・ 復水ビット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> </div>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保 補機監視機能	・ 復水ビット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	操作	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2 母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）	—			<p>監視計器一覧（35 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(c) S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	操作	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	—			(c) S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p>設備の相違 (差異理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																										
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																										
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																							
		水源の確保 補機監視機能	・ 復水ビット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																							
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																							
	操作	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																																							
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																							
	—																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																										
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																										
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																							
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																							
	操作	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																							
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																							
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																							
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																							
		電源	・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																							
	操作	水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																							
		—																																																																																								
	(c) S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																						
最終ヒートシンクの確保			・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																							
操作		水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																							
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「S/G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																
<p>監視計器一覧（34/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>主蒸気圧力計</td> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計</td> <td>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計	・主蒸気圧力計	蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）	水源の確保	・復水ピット水位計	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p>監視計器一覧（36/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。		(f) 原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p>設備の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由④）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																			
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																			
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																
	最終ヒートシンクの確保	主蒸気圧力計	・主蒸気圧力計																																																																
		蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																
		蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																
水源の確保	・復水ピット水位計	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																	
操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																			
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																			
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																																
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																	
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																																
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																	
(f) 原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・蒸気発生器水位（広域） ・蒸気発生器水位（狭域） ・補助給水流量																																																																
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水櫃を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																		
<p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td rowspan="2">・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> <td rowspan="2">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・余熱除去流量計</td> <td rowspan="6">・余熱除去流量計 ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・余熱除去流量計	・余熱除去流量計 ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—	<p>監視計器一覧（37 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> </tr> <tr> <td>電源</td> </tr> <tr> <td>操作</td> </tr> <tr> <td>主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	補機監視機能	操作	最終ヒートシンクの確保	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	電源	操作	主蒸気圧力計	蒸気発生器水位計（広域）	蒸気発生器水位計（狭域）	蒸気発生器補助給水流量計	蒸気発生器主給水流量計（CRT）		
判断基準	監視項目	監視計器																																																			
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																			
	・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																				
原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計																																																			
	・1次冷却材圧力計																																																				
最終ヒートシンクの確保	・余熱除去流量計	・余熱除去流量計 ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																			
	・蒸気発生器水位計（広域）																																																				
	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																				
	・蒸気発生器補助給水流量計																																																				
	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																				
	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																				
水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																				
操作	—	—																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																					
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力																																																			
補機監視機能	操作	最終ヒートシンクの確保																																																			
		—																																																			
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力																																																			
		最終ヒートシンクの確保																																																			
		電源																																																			
		操作																																																			
		主蒸気圧力計																																																			
		蒸気発生器水位計（広域）																																																			
		蒸気発生器水位計（狭域）																																																			
		蒸気発生器補助給水流量計																																																			
		蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																			
<p>監視計器一覧（35 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="6">電源</td> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	最終ヒートシンクの確保	電源	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計	・蒸気発生器主給水流量計（CRT）	・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	復水器真空度計（広域）	電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	—	—																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																					
(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力																																																			
最終ヒートシンクの確保	電源	・主蒸気圧力計																																																			
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																			
		・蒸気発生器水位計（狭域）																																																			
		・蒸気発生器補助給水流量計																																																			
		・蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																			
		・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																			
復水器真空度計（広域）																																																					
電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																				
操作	—	—																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																						
<table border="1"> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（38 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域-低圧側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域-低圧側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																				
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																				
		原子炉圧力容器内への注水量		・ 余熱除去流量計																																					
		操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																					
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																						
「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																									
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高圧側） ・ 1次冷却材温度（広域-低圧側） ・ 炉心出口温度																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																						
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																						
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																						
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																											
<p>監視計器一覧（36/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、3、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	電源	・ 4-3（4）A、3、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	<p>監視計器一覧（40/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) b. (a) E. と同様。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">大飯3/4号炉との比較対象なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1)a.(e)と同様。</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.3(1) b. (a) E. と同様。		大飯3/4号炉との比較対象なし						判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(e)と同様。							<p>設備の相違 (差異理由⑨)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																														
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																											
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																											
		電源	・ 4-3（4）A、3、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																											
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																											
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																											
原子炉圧力容器内への注水量		・ 余熱除去流量計																																																																												
水源の確保		・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																														
(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																											
	操作	1.4.2.3(1) b. (a) E. と同様。																																																																												
		大飯3/4号炉との比較対象なし																																																																												
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																											
原子炉圧力容器内への注水量		・ 余熱除去流量計																																																																												
水源の確保		・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																																																																												
操作	1.4.2.3(1)a.(e)と同様。																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																	
<table border="1" data-bbox="116 603 696 975"> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: middle;">(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>14.2.1(2a.(b)と同様。</td> </tr> </table>	(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位計 	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	操作	14.2.1(2a.(b)と同様。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 大飯3 / 4号炉との比較対象なし </div>		設備の相違 （差異理由⑧）
(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 															
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 															
		原子炉压力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																
		原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 																	
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料取替用水ビット水位計 																	
		補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																
			操作	14.2.1(2a.(b)と同様。																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																													
<p>監視計器一覧（38 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	・ 燃料取替用水ピット水位計	水源の確保	・ 復水ピット水位計	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	電源	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		<p>監視計器一覧（39 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消砕線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位	・ 低圧注入流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	電源	・ 消砕線1L、2L電圧	・ 後志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																														
		・ 燃料取替用水ピット水位計																																																														
	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																														
		・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																														
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																														
		・ 炉心出口温度計																																																														
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																														
	電源	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																														
		・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																														
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																															
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																															
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																														
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度																																																														
		・ 1次冷却系統ループ水位																																																														
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位																																																														
		・ 低圧注入流量																																																														
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																														
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																														
	電源	・ 消砕線1L、2L電圧																																																														
		・ 後志幹線1L、2L電圧																																																														
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																														
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																														
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																														
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																														
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																														
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉			泊発電所3号炉			女川発電所2号炉			差異理由			
監視計器一覧（39 / 48）												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器										
1.4.2.3 運転停止中の場合												
(2) サポート系機能喪失時の手順等												
a. 代替炉心注水												
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計									
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）									
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水種算流量計									
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計									
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計									
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）									
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）									
		操作	1.4.2.1(2)a.(e)と同様。									
		監視計器一覧（40 / 48）										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器										
1.4.2.3 運転停止中の場合												
(2) サポート系機能喪失時の手順等												
a. 代替炉心注水												
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計									
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計									
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）									
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計									
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計									
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計									
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）									
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）									
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。									
		監視計器一覧（41 / 50）										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器										
1.4.2.3 運転停止中の場合												
(2) サポート系機能喪失時の手順等												
a. 代替炉心注水												
(c) B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度									
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位									
		原子炉圧力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口種算流量									
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位									
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）									
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）									
		操作	1.4.2.1(2)a. (b) ii. と同様。									
		(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度							
				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位							
				原子炉圧力容器内への注水量	・充てん流量							
補機監視機能	・充てんライン圧力											
水源の確保	・燃料取替用水ビット水位											
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）											
	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）											
操作	1.4.2.1(2)a. (c) ii. と同様。											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																		
<p>監視計器一覧（41 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(b),(c)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(b),(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	水源の確保	・No. 2淡水タンク水位計（CRT）	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(b),(c)と同様。		(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(b),(d)と同様。		<p>監視計器一覧（42 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(f) b、(c) ii、と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（43 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(f) 増水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(f) b、(d) ii、と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）	操作	水源の確保	・ろ過水タンク水位	1.4.2.1(f) b、(c) ii、と同様。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(f) 増水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）	操作	1.4.2.1(f) b、(d) ii、と同様。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																																																					
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																		
	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																																		
		水源の確保	・No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																		
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																		
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																		
	操作	1.4.2.1(b),(c)と同様。																																																																																																			
	(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																	
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																	
原子炉圧力容器内の水位			・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																		
補機監視機能		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																																		
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																		
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																																		
		操作	1.4.2.1(b),(d)と同様。																																																																																																		
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																																																					
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位																																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）																																																																																																		
	操作	水源の確保	・ろ過水タンク水位																																																																																																		
		1.4.2.1(f) b、(c) ii、と同様。																																																																																																			
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																																																					
(f) 増水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位																																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口種算流量（AM用）																																																																																																		
	操作	1.4.2.1(f) b、(d) ii、と同様。																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																				
<p>監視計器一覧（42 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。	<p>監視計器一覧（44 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域一級循環） ・ 1次冷却材温度（広域二級循環）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 炉心出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ A-高圧注入ポンプ及び炉冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)I、(E)と同様。</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.6.2.1(b) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への循環冷却水（海水）送水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一級循環） ・ 1次冷却材温度（広域二級循環）	原子炉格納容器内の水位	・ 炉心出口流量	補機冷却	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ A-高圧注入ポンプ及び炉冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	操作	電源	・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧	電源	1.4.2.1(2)b.(a)I、(E)と同様。	操作	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.6.2.1(b) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への循環冷却水（海水）送水」にて整備する。	操作			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																							
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																				
	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																					
	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																					
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																					
操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																					
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																							
b. 代替再循環運転																																																																							
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																							
1. A-高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域一級循環） ・ 1次冷却材温度（広域二級循環）																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 炉心出口流量																																																																				
		補機冷却	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ A-高圧注入ポンプ及び炉冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																				
	操作	電源	・ 母線線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ B-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																				
		電源	1.4.2.1(2)b.(a)I、(E)と同様。																																																																				
		操作	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水送水操作は、「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.6.2.1(b) a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプ（海水冷却）への循環冷却水（海水）送水」にて整備する。																																																																				
		操作																																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																						
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 507 703 1094"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 507 353 579">対応手段</th> <th data-bbox="353 507 479 579">重大事故等の 対応に必要な 監視項目</th> <th data-bbox="479 507 703 579">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 579 703 671"> 1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 671 320 1094" rowspan="6"> i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転 </td> <td data-bbox="320 671 479 743"> 原子炉圧力容器内の温度 </td> <td data-bbox="479 671 703 743"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 743 479 786"> 原子炉圧力容器内の圧力 </td> <td data-bbox="479 743 703 786"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 786 479 829"> 原子炉圧力容器内の水位 </td> <td data-bbox="479 786 703 829"> ・加圧器水位計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 829 479 888"> 原子炉格納容器内の水位 </td> <td data-bbox="479 829 703 888"> ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 888 479 981"> 補機監視機能 </td> <td data-bbox="479 888 703 981"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 981 479 1094"> 補機冷却 </td> <td data-bbox="479 981 703 1094"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1094 479 1444"> 操作 </td> <td colspan="2" data-bbox="479 1094 703 1444"> 1.4.2.1(2)b.6hと同様。 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.6hと同様。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> 大飯3/4号炉との比較対象なし </div>		設備の相違 （差異理由⑧）
対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器																							
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																									
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																							
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																							
	原子炉格納容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																							
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																							
	補機冷却	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計																							
操作	1.4.2.1(2)b.6hと同様。																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉		泊発電所3号炉		女川発電所2号炉	差異理由
監視計器一覧（44 / 48）		監視計器一覧（45 / 50）			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合		1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 と、代替再循環運転 (b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	判断基準 操作	原子炉圧力容器内の温度	1. 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	
	原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力容器内の温度		
	原子炉圧力容器内の水位		原子炉格納容器内の水位		
	原子炉格納容器内の水位		原子炉圧力容器内の注水量		
	原子炉圧力容器内の注水量		補機監視機能		
	補機監視機能		補機冷却		
	補機冷却				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																		
<p>監視計器一覧（45/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1a.(a))と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	水源の確保	・復水ピット水位計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1a.(a))と同様。		<p>監視計器一覧（46/50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・注圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・泊線電圧 1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・後赤線電圧 1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) Ⅱ.と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(CD) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側）	・1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内への注水量	・注圧注入流量	水源の確保	・補助給水ピット水位	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ電流	電源	・泊線電圧 1L、2L電圧	・後赤線電圧 1L、2L電圧	補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧	・原子炉補機冷却水供給母管流量	操作	1.4.2.2(1) a. (a) Ⅱ.と同様。		(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側）	・1次冷却材温度（広域－低温側）	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）	・蒸気発生器水位（広域）	水源の確保	・補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(CD) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">設備の相違 (差異理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																					
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																			
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																			
		・1次冷却材圧力計																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																			
		水源の確保	・復水ピット水位計																																																																		
	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																			
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																		
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																			
操作	1.4.2.2(1a.(a))と同様。																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																					
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側）																																																																			
		・1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・注圧注入流量																																																																			
		水源の確保	・補助給水ピット水位																																																																		
	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力																																																																			
		・余熱除去ポンプ電流																																																																			
	電源	・泊線電圧 1L、2L電圧																																																																			
		・後赤線電圧 1L、2L電圧																																																																			
	補機監視機能	・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																			
		・原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																			
操作	1.4.2.2(1) a. (a) Ⅱ.と同様。																																																																				
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域－高温側）																																																																			
		・1次冷却材温度（広域－低温側）																																																																			
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（狭域）																																																																			
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																			
	水源の確保	・補助給水流量																																																																			
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(CD) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																														
<table border="1" data-bbox="107 359 705 813"> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（47 / 50）</p> <table border="1" data-bbox="757 438 1377 1077"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート蒸機故障時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート蒸機故障時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 		<p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p> <p style="text-align: center; color: red;">設備の相違 (差異理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																												
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																												
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器水位計（広域） ・蒸気発生器補助給水流量計 																																													
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・復水ピット水位計 																																													
			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																													
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																														
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート蒸機故障時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																	
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																															
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																															
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																															
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高圧側） ・1次冷却材温度（広域-低圧側） 最終ヒートシンクの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																					
<p>監視計器一覧（46 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。		<p>監視計器一覧（48 / 50）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・ 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志母線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 蒸気発生器水位（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	電源	・ 母線電圧	・ 後志母線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量		「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																								
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																								
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																						
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																						
		・ 炉心出口温度計																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																						
		・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																						
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																						
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																						
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																								
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																								
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																								
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																						
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																						
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	・ 補助給水流量																																																																						
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																						
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																						
	電源	・ 母線電圧																																																																						
		・ 後志母線1L、2L電圧																																																																						
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																						
補機監視機能	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																							
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																							
操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																							
	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(2)a.「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																							